



三菱ロスナイ

設備用ロスナイ床置形

据付工事説明書

販売店・工事店様用

形名

LF-50X (单相 200V)
LF-80X (单相 200V)
LF-100X (单相 200V)
LF-150X-50 (三相 200V 50Hz)
LF-150X-60 (三相 200V 60Hz)
LF-200X-50 (三相 200V 50Hz)
LF-200X-60 (三相 200V 60Hz)
LF-300X-50 (三相 200V 50Hz)
LF-300X-60 (三相 200V 60Hz)
LF-400X-50 (三相 200V 50Hz)
LF-400X-60 (三相 200V 60Hz)
LF-500X-50 (三相 200V 50Hz)
LF-500X-60 (三相 200V 60Hz)

この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

■据付工事は必ず専門の工事店で実施してください。

電気工事は電気工事士の方が実施してください。

(お客様自身で据付けないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

■据付工事部品は必ず付属部品および指定部品をご使用ください。当社指定部品を使用しないと、故障の原因となります。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書と共に、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。

もくじ

ページ

据付けの前に

安全のために必ず守ること…	2～3
外形寸法図と各部のなまえ…	4～5

据付工事







据付工事の前に	6～7
据付工事のポイント	6
据付場所の選定	6
防音方法	7
搬入方法	7～12
一括搬入方法	7
分割搬入方法	8～12
据付方法	13～15
本体の据付け	13
ダクト方向変換	13～14
断熱材の貼り付け	14～15
ダクト工事	15
電気工事	16～26
機能設定	27～29

試運転

試運転	30～32
-----	-------

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●クレーンによる吊り上げ作業中は、製品に近づかない (落下によるけがの原因になります) 	
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因となります) 	
 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンとも取付けない (感電および故障の原因になります) 	
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●定格電圧、定格周波数、制御容量範囲内で使用する (指定以外で使用すると火災や感電の原因になります) ●外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ (新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります) ●本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実にを行う (転倒によりけがをすることがあります) ●端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災のおそれがあります) ●電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります) ●金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける (接続されていると漏電した場合、火災の原因となります) ●電気工事の際は必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります) ●保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります) ●搬入時の吊り上げは、アイボルトに強固なロープを通して吊り上げる (確実に行わないと落下によるけがの原因になります) 	
 アース線接続	<ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付ける (アースを取付けないと事故や漏電のときに感電の原因になります) 	

注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



禁止

- 直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない
(火災のおそれがあります)



指示に従い
必ず行う

- 外気温度-15℃～40℃の使用範囲を守る
(使用範囲以外で使用すると漏電・火災のおそれがあります)
- 制御ボックスカバーは施工後、必ず取付ける
(ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)
- 室外側ダクトは室外に向かって下りこう配(1/30以上)になるように取付け断熱処理を確実にし、外壁にも雨水浸入防止の処理を行う
(雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷のおそれがあります)
- 据付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
- 電源系統に漏電しゃ断器を入れる
(漏電しゃ断器を入れないと火災・感電の原因になります)
- 据付けの際は手袋を着用する
(着用しないとけがの原因になります)
- 保守点検の際は手袋を着用する
(着用しないとけがの原因になります)
- 保守点検後の部品の取付けは確実に
(確実にしないと落下によりけがをすることがあります)

据付場所のお願い

次のような場所には据付けないでください。(故障の原因になります)

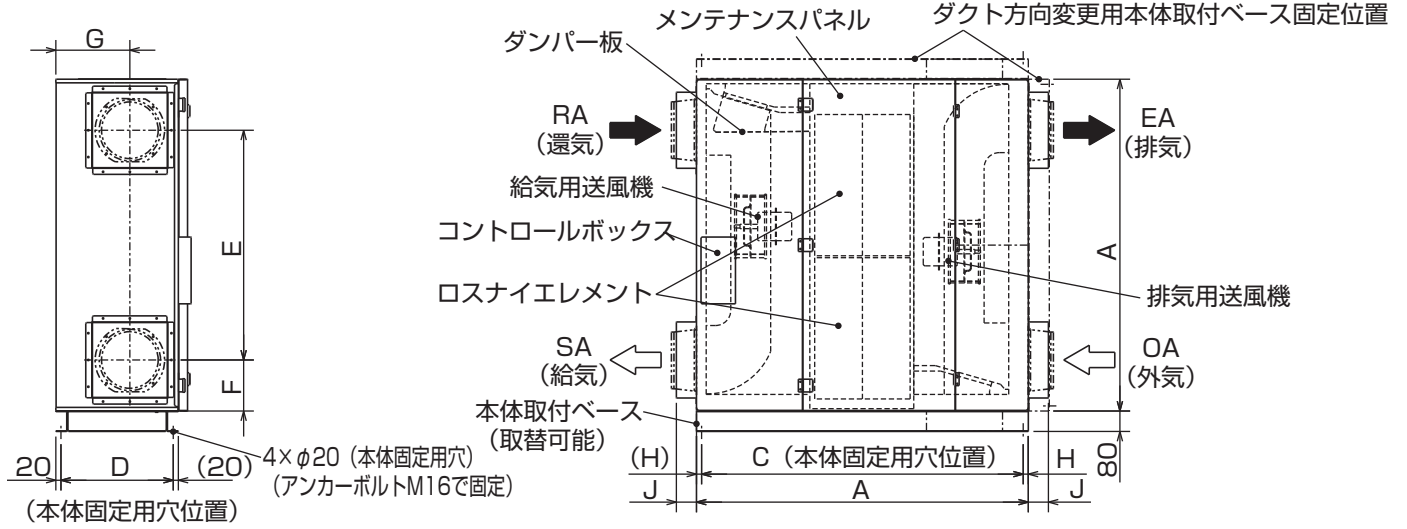
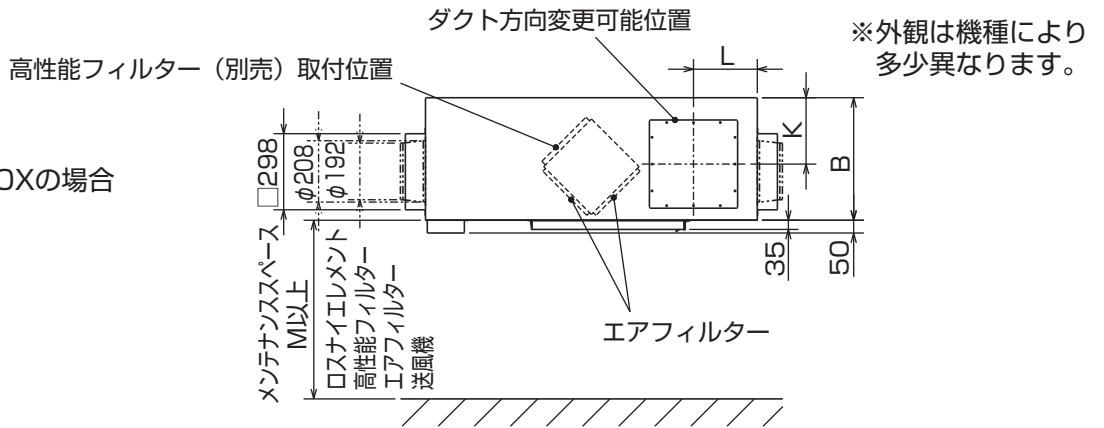
- 高温(40℃以上)になる場所
- 湿気(80%以上)または油煙の多い場所
- 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所
- 塩害・温泉害等の発生している場所

各部のなまえと外形寸法図

■外形図

LF-50X
LF-80X
LF-100X

※ ----- 表示はLF-50Xの場合



(単位mm)

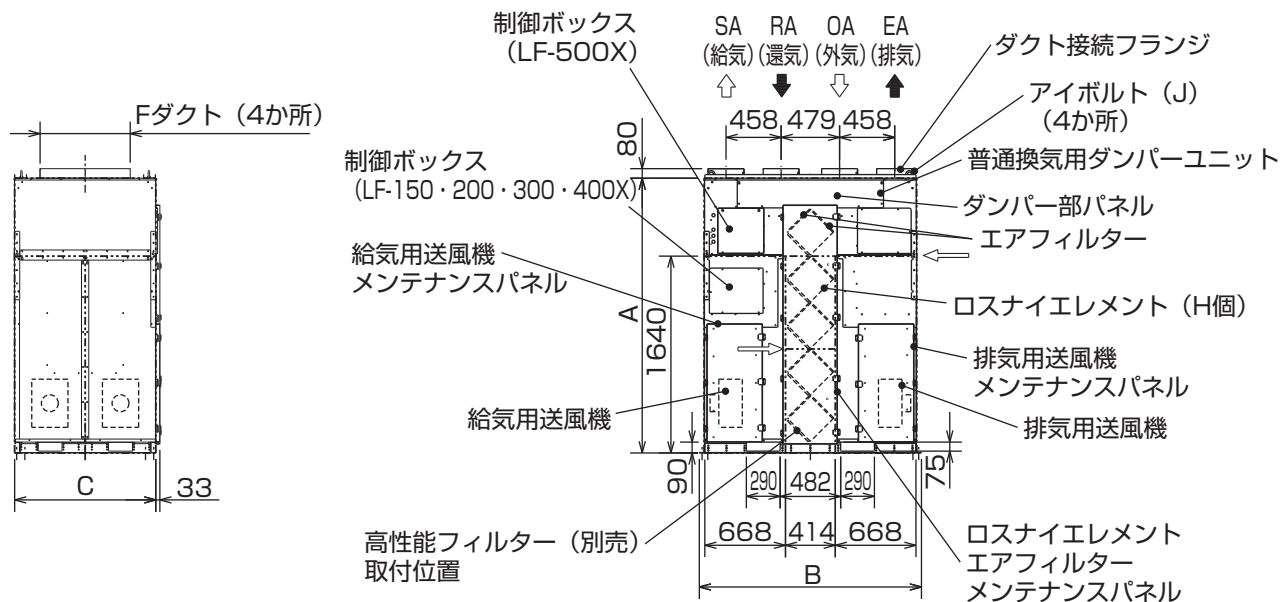
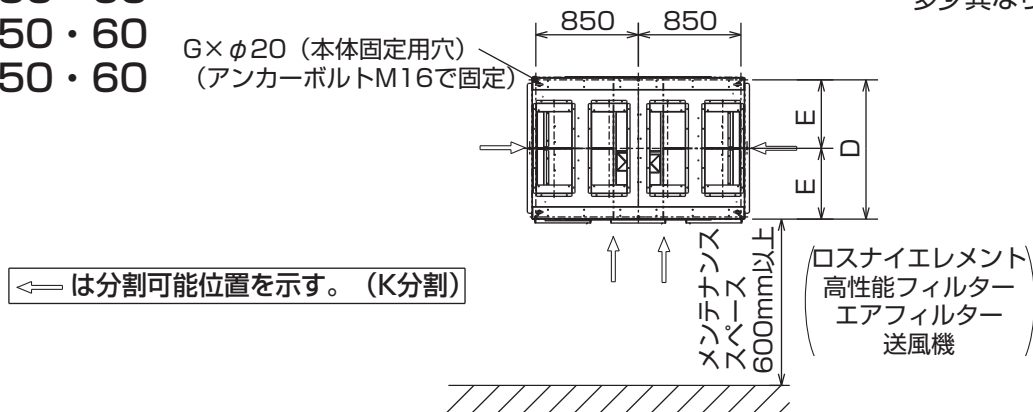
■変化寸法表

形名	外形		固定用穴位置		パイプガイド位置							メンテナンススペース	質量 (kg)
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L		
LF-50X	1020	420	900	380	670	175	210	60	85	210	142	600	85
LF-80X	1300	480	1260	440	900	200	290	20	80	260	250	700	130
LF-100X	1300	480	1260	440	900	200	290	20	80	260	250	700	130

■外形図

LF-150X-50・60
 LF-200X-50・60
 LF-300X-50・60
 LF-400X-50・60
 LF-500X-50・60

※外観は機種により
 多少異なります。



(単位mm)

■変化寸法表

形名	外形			アンカーボルト固定位置		ダクト径	本体固定用穴	ロスナイエレメント (個)	アイボルト	分割個数	質量 (kg)
	A	B	C	D	E						
LF-150X-50・60	1890	1750	585	550	—	□298	6	3	M12	4分割	290
LF-200X-50・60	1890	1750	585	550	—	□298	6	4	M12	4分割	295
LF-300X-50・60	1890	1840	1170	—	568	748×298	8	6	M16	7分割	540
LF-400X-50・60	1890	1840	1170	—	568	748×298	8	8	M16	7分割	550
LF-500X-50・60	2277	1840	1170	—	568	748×298	8	10	M16	7分割	620

据付工事の前に

据付工事のポイント

本体据付けのポイント

参照ページ

- 防音対策を実施する 7 ページ
- 分割搬入の際は連結後、すき間がある場合シリコン等で、コーキングする 12 ページ
- 室外側ダクト (2 本) は、結露防止のため必ず断熱処理をする 15 ページ

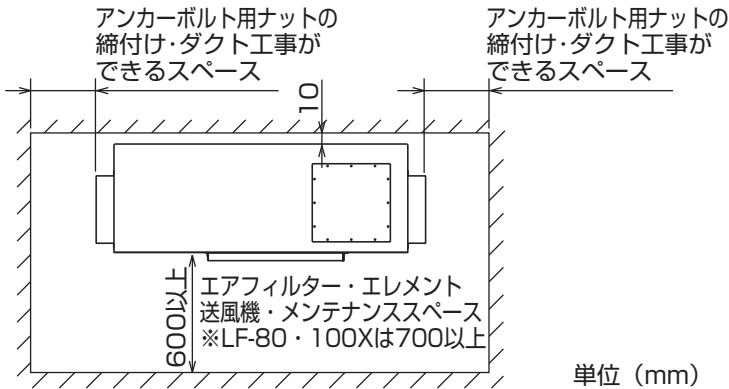
電気工事のポイント

参照ページ

- 伝送線と他の伝送線および電源線とは 50mm 以上離して配線する 16 ページ
- 制御ボックス内の主 / 従切換スイッチ (SW1)、
試運転 / パルス入カスイッチ (SW2) の確認 16・22・23・28・30 ページ
- 試運転時に送風機の回転方向を確認する 31 ページ

据付場所の選定

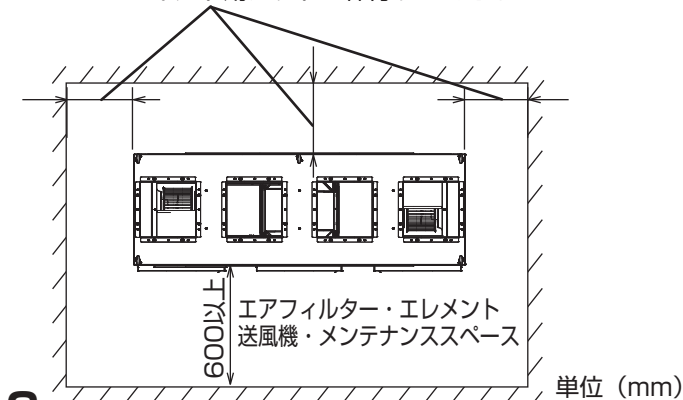
LF-50 ~ 100X の場合



- 1.基礎は堅固で水平な面とする。
- 2.本体に雨水がかからない場所、またダクトから雨水の浸入がない場所に据付ける。
- 3.据付場所の周囲温度が $-10^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ 、湿度 80%以下の条件となる場所に据付ける。
- 4.左図のスペースがとれる場所に据付ける。

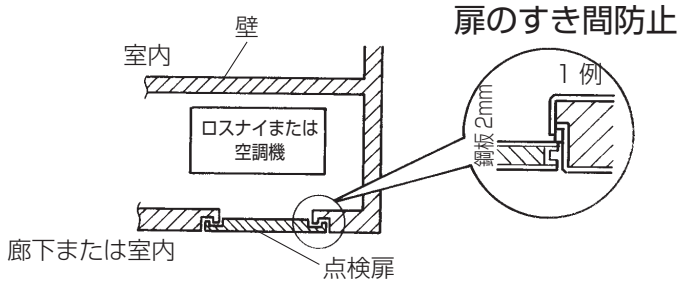
LF-150 ~ 500X の場合

アンカーボルト用ナットの締付けができるスペース

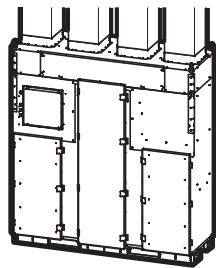


防音方法

■製品設置場所が静かな環境に隣接する場合には、周辺へのもれ音・反響音が少なくなるように次のような対策を行ってください。



※図は LF-150X を示す



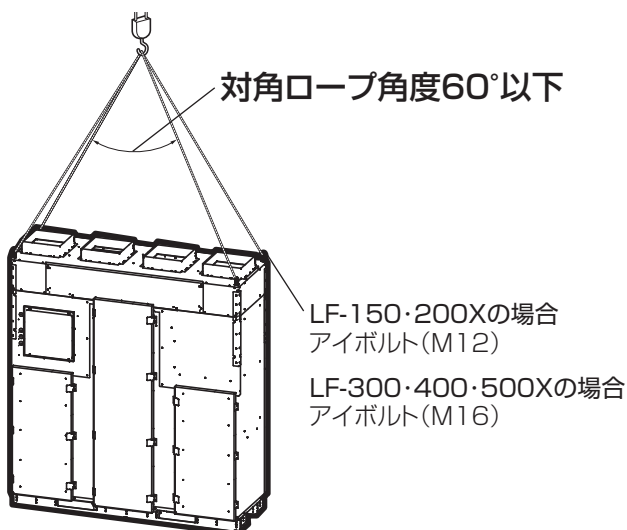
- 製品と室内の間の壁および扉の材質は、音響透過損失の高い材質を使用し、密閉構造とする。
- 扉のすき間は音もれのない構造とする。
- 製品の給排気ダクトには、風の流れる音を消音するため、防露工事（室外側ダクトには断熱工事を必ず行う）を兼ねて、吸音率の高い材質をダクトに巻きつける。

搬入方法

一括搬入方法

LF-150・200・300・400・500X のみ

※図は LF-150X を示す



1. 4か所のアイボルトに強固なロープを通す。
2. 対角ロープ角度が 60° 以下になるようロープの長さを調節して、ていねいに吊り上げる。

お願い

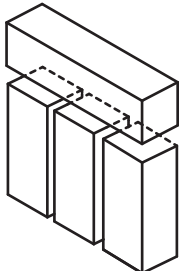
- 対角ロープ角度は 60° を超えて吊り上げないでください。製品が変形する原因になります。
- LF-50・80・100X は梱包パレットごと吊り上げてください。

分割搬入方法

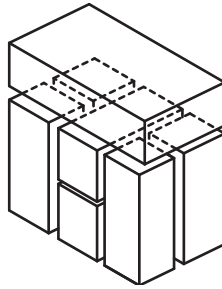
分割搬入には大きく分けて3タイプあります。

お願い ●分割搬入する場合、分割した各ユニットは図の状態のままとし、横向き等にはしないでください。
(図以外の状態にすると本体ケーシングの破損やダンパー等の故障の原因になります)

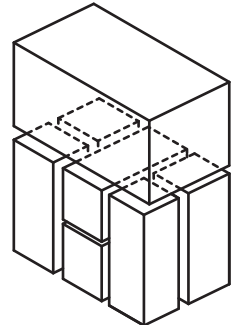
LF-150・200X (4分割)



LF-300・400X (7分割)

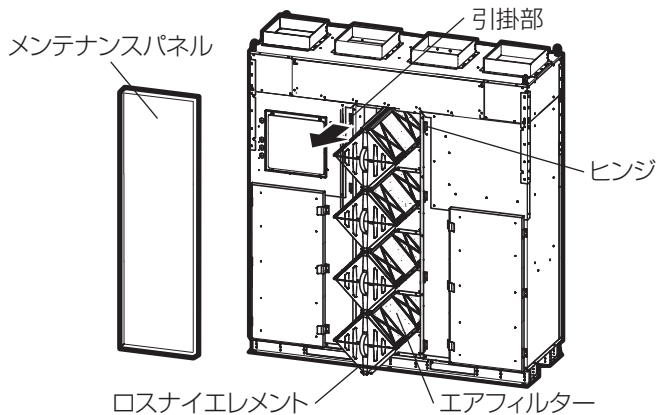


LF-500X (7分割)



LF-150・200・300・400・500X 共通

※図は LF-200X を示す



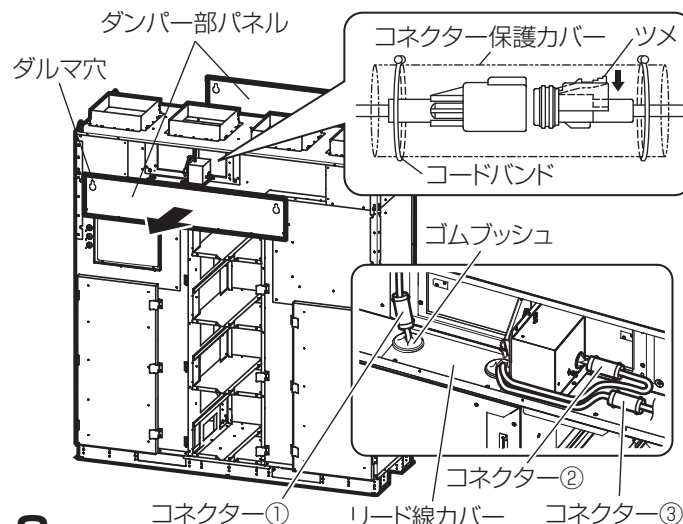
※分割時は、転倒などがないように注意してください。

1 ロスナイエレメントをはずす

1. メンテナンスパネルのヒンジをはずし引掛部から取りはずす。
2. エアフィルターが付いたままのロスナイエレメントを上から順に取りはずす。
※ LF-150・300X の最下段の部品は、はずしません。
※ LF-300～500X の場合、各段の手前側のロスナイエレメントを取りはずしてください。

形名	はずすエレメントの個数
LF-150・300X	3
LF-200・400X	4
LF-500X	5

LF-150～400X の場合 ※図は LF-200X を示す

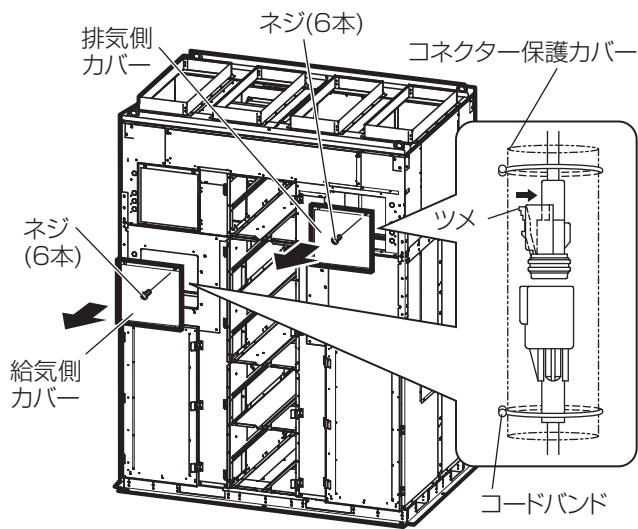


2 コネクターをはずす

LF-150～400X の場合

1. ダンパー部パネル（前後）をダルマ穴のネジをゆるめ、その他のネジをはずして取りはずす。
2. コネクター①②③のコネクター保護カバーをずらして、コネクターのツメを「↓」方向に押し、はずす。
3. リード線カバーをはずし（ネジ4本）、リード線の取付いているゴムブッシュを板金からはずして、給気送風機ユニットへ入れる。コネクター③をはずした後、給気・排気送風機ユニットへそれぞれ入れる。（リード線はさみ込み防止のため）

LF-500X の場合

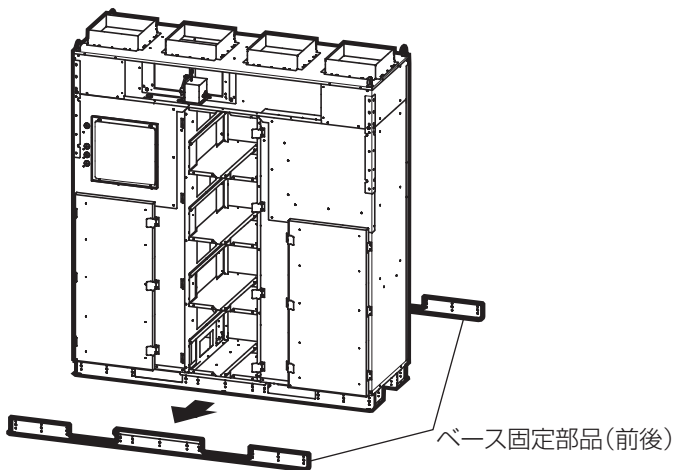


LF-500X の場合

1. 給気側カバー・排気側カバーをはずす。(各ネジ6本)
2. 給気用・排気用送風機の2か所のコネクターをはずす。
3. はずしたリード線を各送風機ユニットへ入れる。(リード線のはさみ込み防止のため)

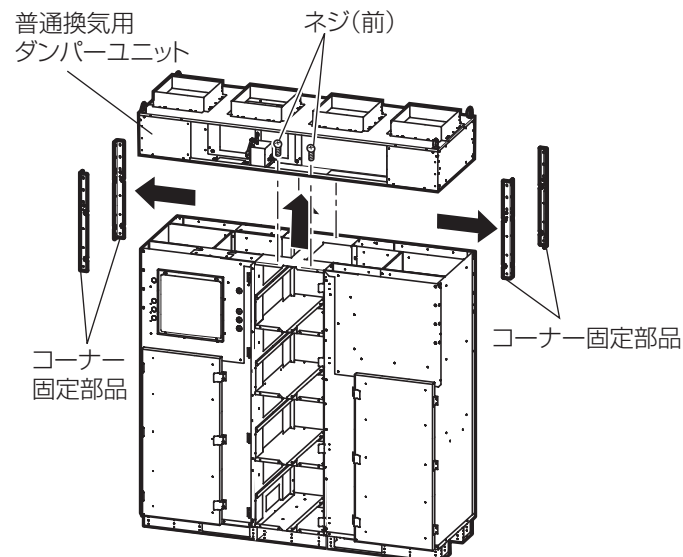
LF-150・200X の場合

※図は LF-200X を示す



3 ベース固定部品をはずす

本体最下部に取付けてあるベース固定部品(前後2か所)をはずす。



4 普通換気用ダンパーユニットの分割

1. コーナー固定部品(4か所)をはずす。
2. 普通換気用ダンパーユニットと製品を固定しているネジ(前後各2本)を取りはずす。

お願い

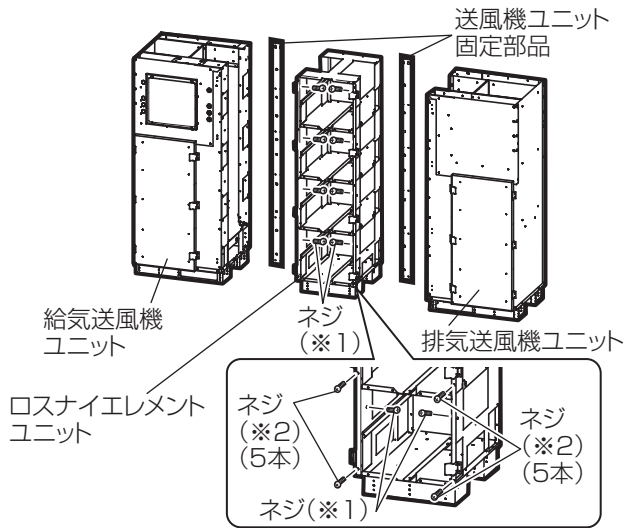
- 分割時、ダンパーの駆動部、ダンパー板を持たないでください。
- 普通換気用ダンパーユニットの分割時には、落下に注意してください。

搬入方法 つづき

分割搬入方法 つづき

LF-150・200X の場合

※図は LF-200X を示す



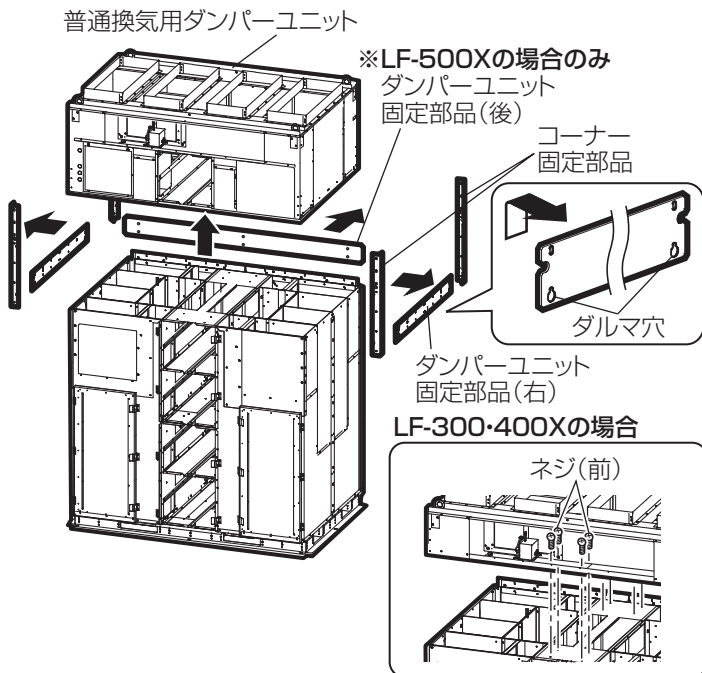
5 給気送風機ユニット・排気送風機ユニットの分割

1. 背面の送風機ユニット固定部品 (2 か所) をはずす。
2. ロスナイエレメントユニットと送風機ユニットの接続用ネジをはずす。

形名	ネジ(※1:内側)	ネジ(※2:外側)
LF-150X	6本	10本
LF-200X	8本	10本

LF-300・400・500X の場合

※図は LF-500X を示す



3 普通換気用ダンパーユニットの分割

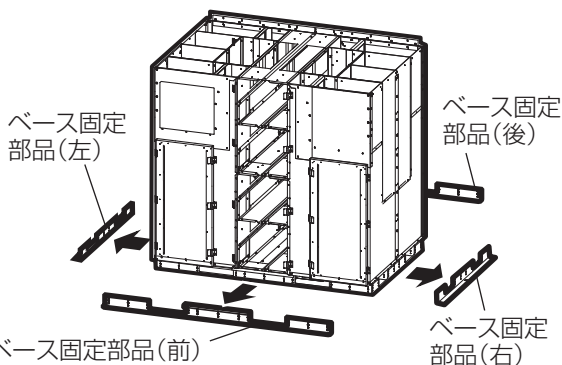
1. コーナー固定部品 (4 か所) をはずす。
 2. ダンパーユニット固定部品(左右2か所)をはずす。
 - ダルマ穴をずらして、両手でもって取りはずしてください。
- LF-300・400X の場合
普通換気用ダンパーユニットの底部のネジ (前後各4本) をはずす。
- LF-500X の場合のみ
普通換気用ダンパーユニットの底部のネジ (前4本) をはずす。
背面のダンパーユニット固定部品(後) をはずす。

お願い

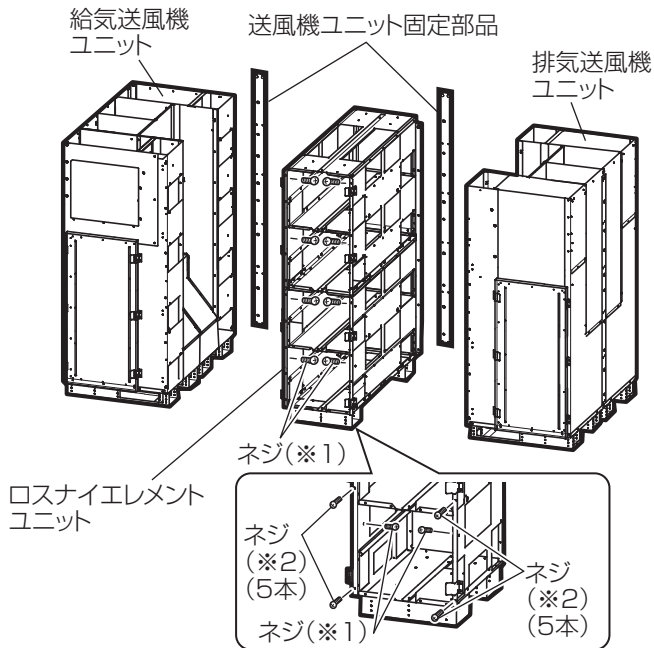
- 分割時に取りはずしたリード線がかみ込まないように注意してください。
- 分割時、ダンパーの駆動部、ダンパー板を持たないでください。
- 普通換気用ダンパーユニットの分割時には、落下に注意してください。

4 ベース固定部品をはずす

本体の最下部に取付けてあるベース固定部品 (前後・左右2か所) をはずす。



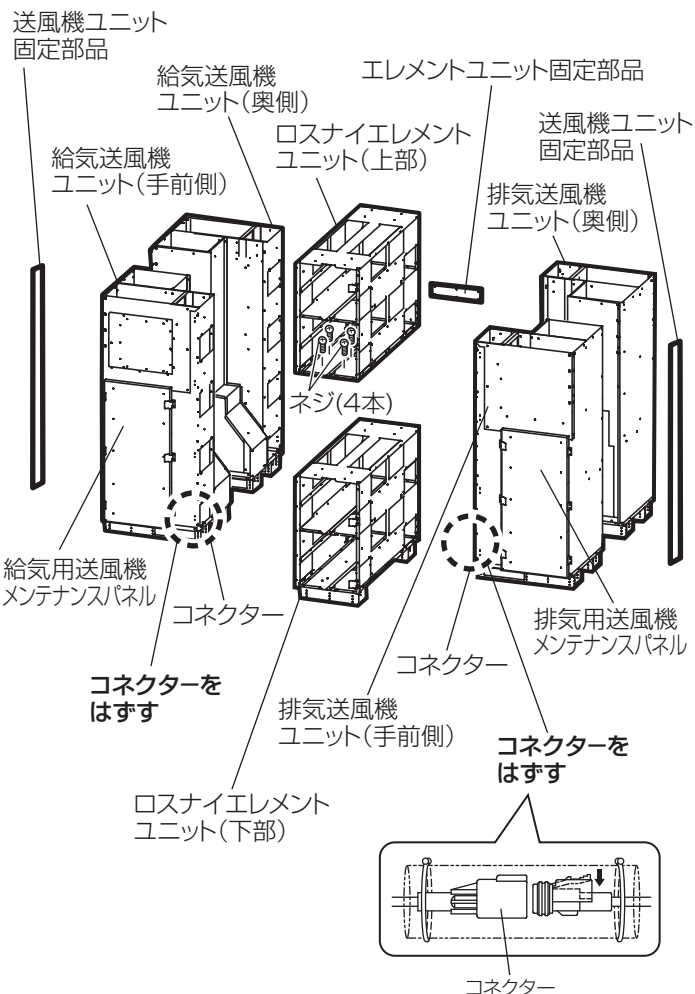
LF-300・400・500X の場合



5 給気送風機ユニット・排気送風機ユニットの分割

1. 背面の送風機ユニット固定部品 (2 か所) をはずす。
2. ロスナイエレメントユニットと送風機ユニットの接続用ネジをはずす。

形名	ネジ(※1:内側)	ネジ(※2:外側)
LF-300X	6本	10本
LF-400・500X	8本	10本



6 給気送風機ユニットの2分割

1. 給気用送風機メンテナンスパネルをはずす。
2. 給気送風機ユニット内部にあるエレメント側のコネクターをはずす。
3. はずしたリード線を奥の送風機ユニットに入れる。
4. 送風機ユニット固定部品をはずして、前後方向に2分割する。

7 排気送風機ユニットの2分割

⑥と同様に前後方向に2分割する。

8 ロスナイエレメントユニットの2分割

ロスナイエレメントユニットの背面に取付けてあるエレメントユニット固定部品をはずし、上部ユニットの底面のネジ4本をはずして、上下方向に2分割する。

搬入方法 つづき

分割搬入方法 つづき

LF-150・200・300・400・500X 共通

組立ては平らな面で行ってください。
(でこぼこな面で組立てるとネジが締め付けづらくなります)

ポイント

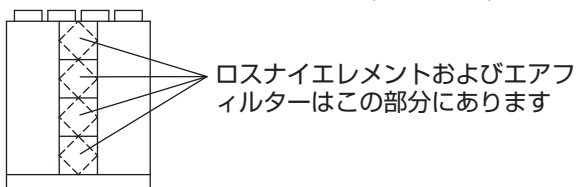
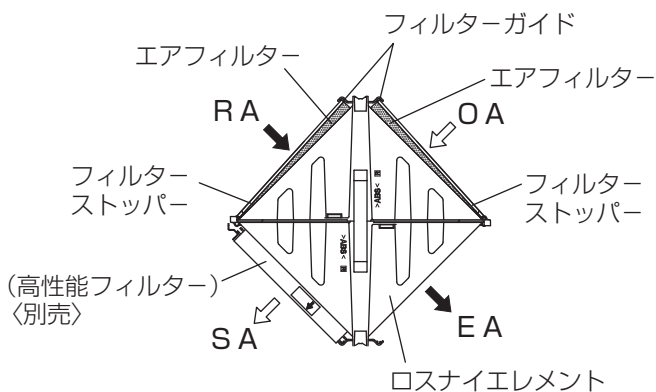
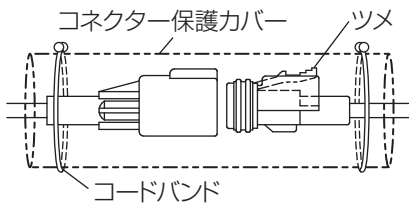
- ・ベースから組上げると組み立てやすいです。
(下から上へ組むこと)
- ・穴が合いづらい場合は先のとがった工具(しの、目打ちなど)で合わせるとネジが締めやすいです。

下記固定部品はそれぞれ同一部品です

- ※ベース固定部品(前後)
- ※ベース固定部品(左右)
- ※送風機ユニット固定部品

分割時には必ずコネクター数

形名	2P	3P	6P
LF-150・200X	1	1	1
LF-300・400X	1	4	1
LF-500X	—	6	—



搬入と組立て

1 分割した給気・排気送風機ユニットとロスナイエレメントユニットを接続する

分割時に取りはずしたネジと固定部品を元どおり取り付け。

2 分割した普通換気用ダンパーユニットを接続する

普通換気用ダンパーユニットを乗せ、分割時に取りはずしたネジと固定部品を元どおり取り付け。

お願い

- 分割時に取りはずしたリード線がかみ込まないように注意してください。
- 接続後すき間がある場合はシリコン等でコーキングしてください。

3 分割時には必ずしたコネクターを確実に取付ける

- 1.コネクターを差し込みカチッと音がるのを確認した後、コネクターを引っ張りはずれないことを確認する。
- 2.コネクターには分割前と同様にコネクター保護カバーを確実に取付ける。

4 ダンパー部パネル(LF-150～400X)、給気・排気側カバー(LF-500X)を元どおり取付ける

5 ロスナイエレメントを挿入する

ロスナイエレメントの挿入には方向性があるので本体に貼り付いているエアフィルター清掃方法が記載された銘板に合わせて挿入する。

6 メンテナンスパネルを元どおり取付ける

お願い

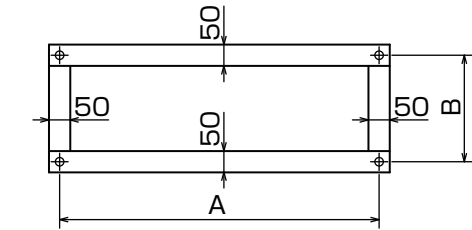
- 分割搬入後は風漏れを確認し、風漏れ箇所をシリコン等でコーキングしてください。

据付方法

本体の据付け

■本体のベース設置面図

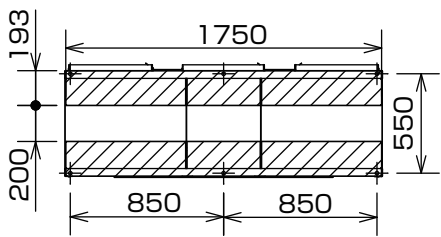
LF-50 ~ 100X の場合 (4 か所)



単位 (mm)

形名	A	B
LF-50X	900	380
LF-80・100X	1260	440

LF-150・200X タイプの場合 (6 か所)

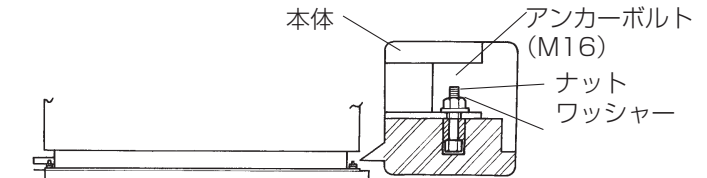


単位 (mm)

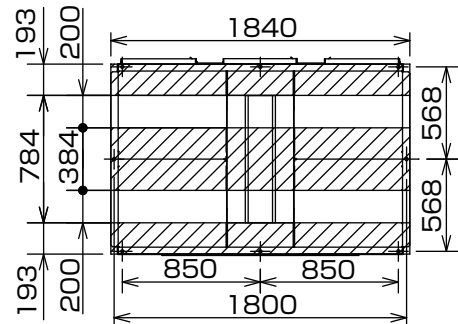
本体を水平に据付け、市販のワッシャー・ナット (M16) で確実に固定する。

お願い

- ベース部 (斜線部) をかならず設置してください。
- 図のベース部分すべてで製品質量を支えるように据付けてください。



LF-300 ~ 500X タイプの場合 (8 か所)



単位 (mm)

ダクト方向変換 (LF-50・80・100X のみ)

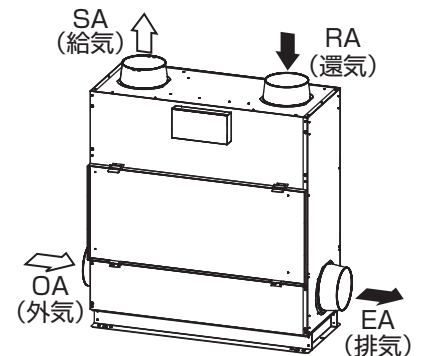
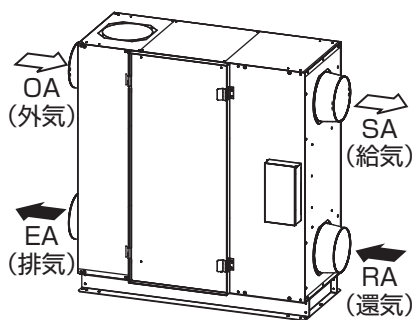
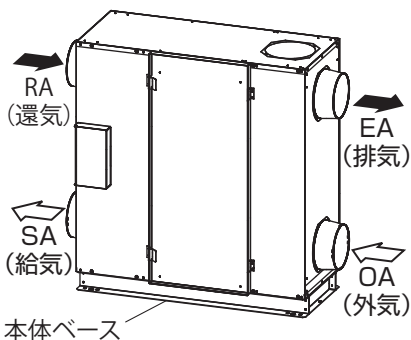
本体に取付けてあるベースの位置を変えることでダクトの方向が変えられます

※図は LF-50X を示す

標準仕様 (製品出荷時)

逆勝手仕様 (天地逆)

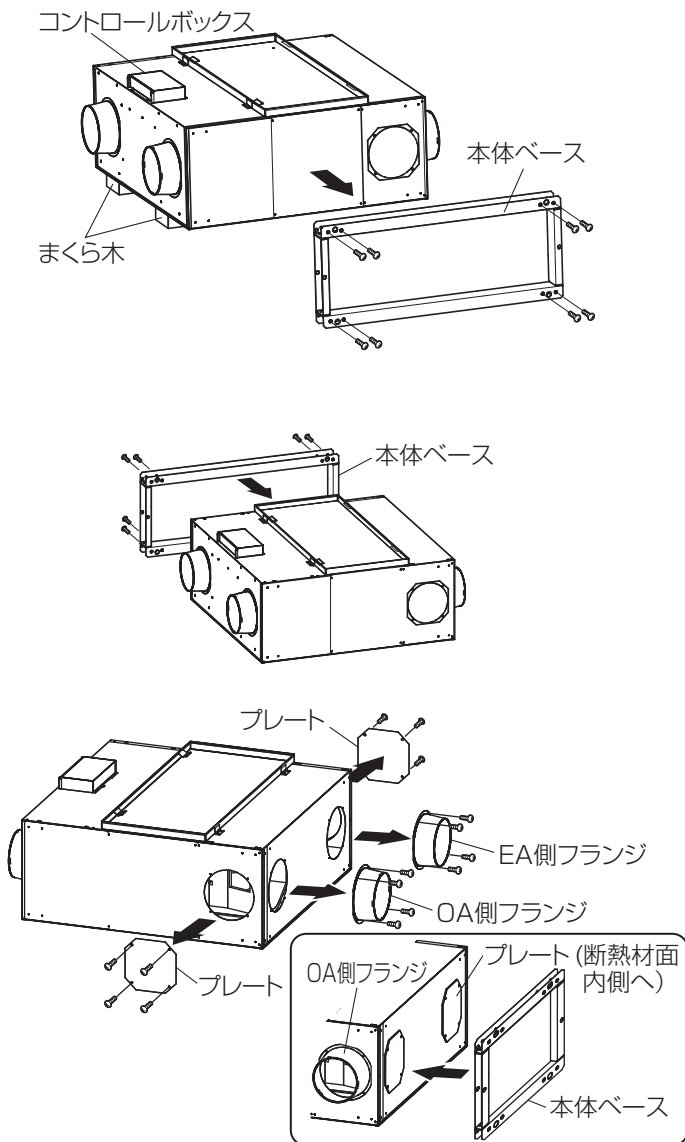
室内配管上取出仕様
(室内側ダクトのみ)



据付方法 つづき

ダクト方向変換 つづき (LF-50・80・100X のみ)

※図は LF-50X を示す



1 ダクト方向変換準備

1. 本体のコントロールボックスを上にして横に倒す。

お願い

- 倒すとき手などをはさまないようにまくら木などをしてください。
- 倒すときや移動の際にコントロールボックスを持たないでください。

2. 本体ベースのネジ (8 か所) をはずし、本体ベースを取りはずす。ネジは元どおり取付けてください。エア漏れの原因となります。

2 逆勝手仕様 (天地逆) の場合

1. 本体ベースを今まで上面部であった面に取り付ける。

2. 本体ベースを下に本体を起こす。

3 室内配管上取出仕様 (室内側ダクトのみ上) の場合

1. OA・EA 側フランジをはずす。

2. ダクト変換する位置にあるプレートのネジをはずし、元のフランジ穴をプレートでふさぐ。

3. OA・EA 側フランジを変換位置に取り付ける。

4. プレートを取付けた面に本体ベースを取付ける。

5. 本体ベースを下にして起こす。

断熱材の貼り付け (LF-50・80・100X のみ)

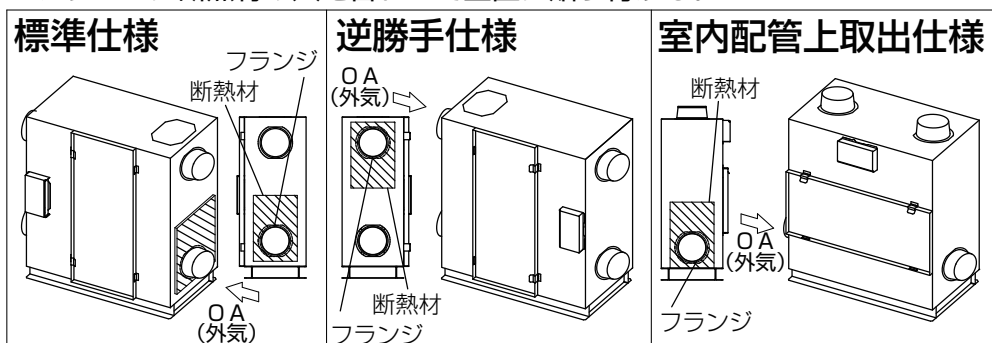
・ダクト工事前に同梱してある断熱材の貼り付け作業を行ってください。

※断熱材を貼り付けないと結露の原因となります。

LF-50Xの場合

・フランジに断熱材の穴を合わせて垂直に貼り付ける。

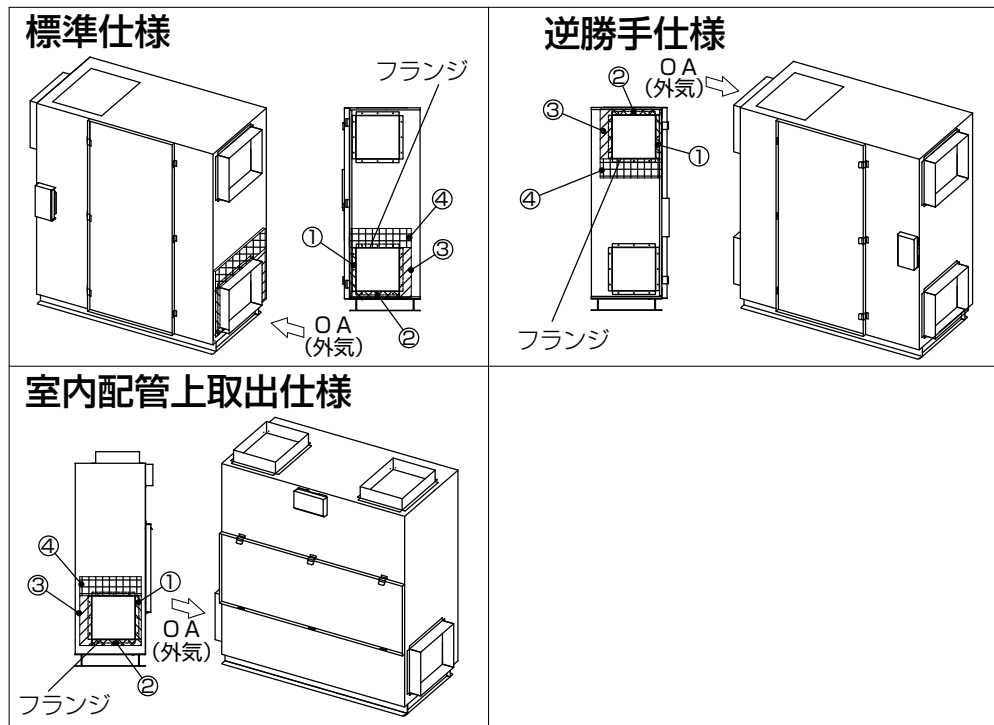
断熱材 



LF-80・100Xの場合

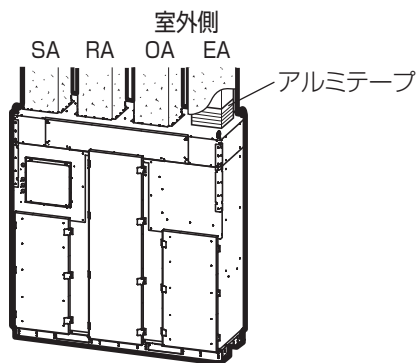
・フランジに沿って断熱材を番号順に貼り付ける。

断熱材 ① (短) ② (長) ③ ④



ダクト工事

※図は LF-150X を示す



1. 接続部より風漏れのないよう、アルミテープを巻き付ける。
2. ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう固定する。
3. 室外側ダクト (2 本) は、結露防止のため必ず断熱処理を行う。
4. ダクトに厚さ 50mm 以上のグラスウール (吸音材) を巻き付ける。
● 風の流れる音を消音することも兼ねます。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物 (紙・ビニールなど) が入っていないことを確認してください。
- ダクトが全閉に近い条件では使用しないでください。(異常音発生の原因になります)
- 下図のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

● 極端な曲げ



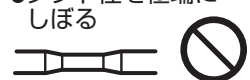
● 多数の曲げ



● 吐出口や吸込口のすぐそばでの曲げ



● ダクト径を極端にしぼる



- 排気側風路 (RA、EA) には、補助送風機を設置しないでください。ロスナイ換気・普通換気の切換動作不具合が発生する可能性があります。

電気工事

警告

- 電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する
電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。
それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。

《制御回路部のなまえ》

※図は LF-50X を示す

特強・強切換スイッチ(給気側)
(SW4)(LF-50Xのみ切換可能)

特強・強切換スイッチ(排気側)
(SW3)(LF-50Xのみ切換可能)

主/従切換スイッチ
(SW1)

点検表示ランプ
(LED1、LED2)

機能切換スイッチ(SW2、SW5)

外部加湿制御入力
モニタ出力端子台(TM3)

アドレス設定スイッチ(SA1、SA2)

電源用速結端子(TM1)
(LF-50~100Xのみ)

通電表示ランプ(LED4)

M-NET伝送線
給電表示ランプ(LED6)

M-NET
伝送線入力端子台(TB5)

リモコン伝送線入力
(PZ-N43SMF)

端子台(TM2)

外部制御入力

お願い

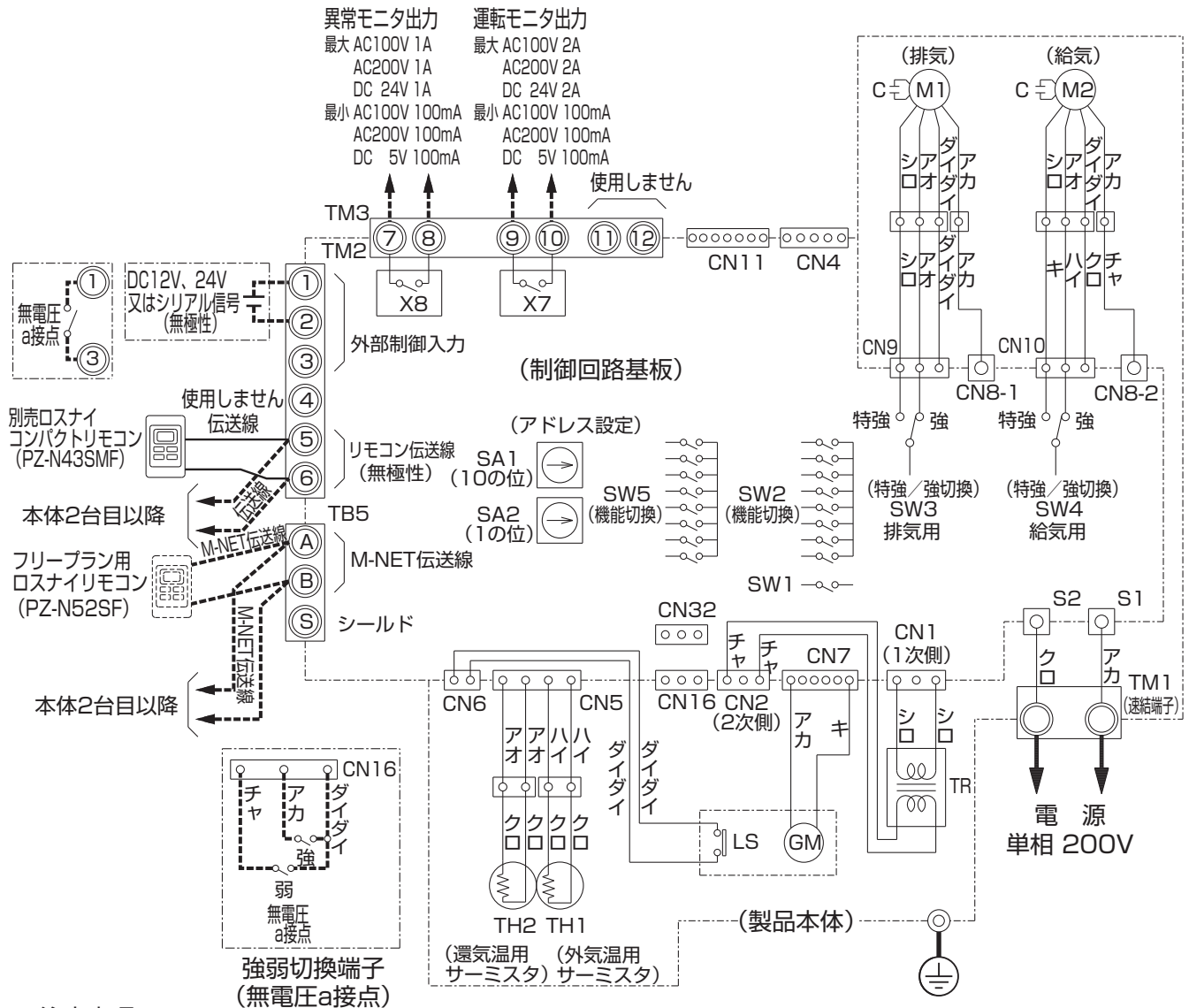
- 複数の伝送線を多芯ケーブルで配線しないでください。
- 同一電線管に複数の伝送線を入れるときは、シールド線を使用してください。
- 伝送線と他の伝送線および電源線とは 50mm 以上離して配線してください。
- 漏電ブレーカーを必ず設置してください。
- モータブレーカーを配線システム使用し、誤動作防止のために最大負荷電流の 1.2 ~ 1.5 倍程度を目安に選定してください。

最大負荷電流

形名	50Hz	60Hz
LF-50X	2.0A	2.4A
LF-80X	2.8A	3.5A
LF-100X	3.2A	4.1A
LF-150X	6.0A	6.3A
LF-200X	5.4A	7.8A
LF-300X	10.8A	13.5A
LF-400X	11.4A	14.4A
LF-500X	14.2A	15.0A

結線図 ※太線および破線部分を接続する。

LF-50X



● 注意事項

- TM1~TM3, TB5, CN16, CN32は現地接続、TM1は速結端子 (φ1.6~φ2.0VVF用)
- TM2, TM3, TB5はネジ端子接続となります。
- ※外部制御入力は「従」設定されたロスナイには接続できません。(「主」設定時のみ接続可)
- ※別売ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFをご使用の場合は、TM2端子台の⑤, ⑥に接続してください。
- フリープランシステムでご使用の場合は、TB5端子台の(A), (B)に接続してください。
- ※フリープランシステムでご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFはご使用できません。
- 太線及び破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

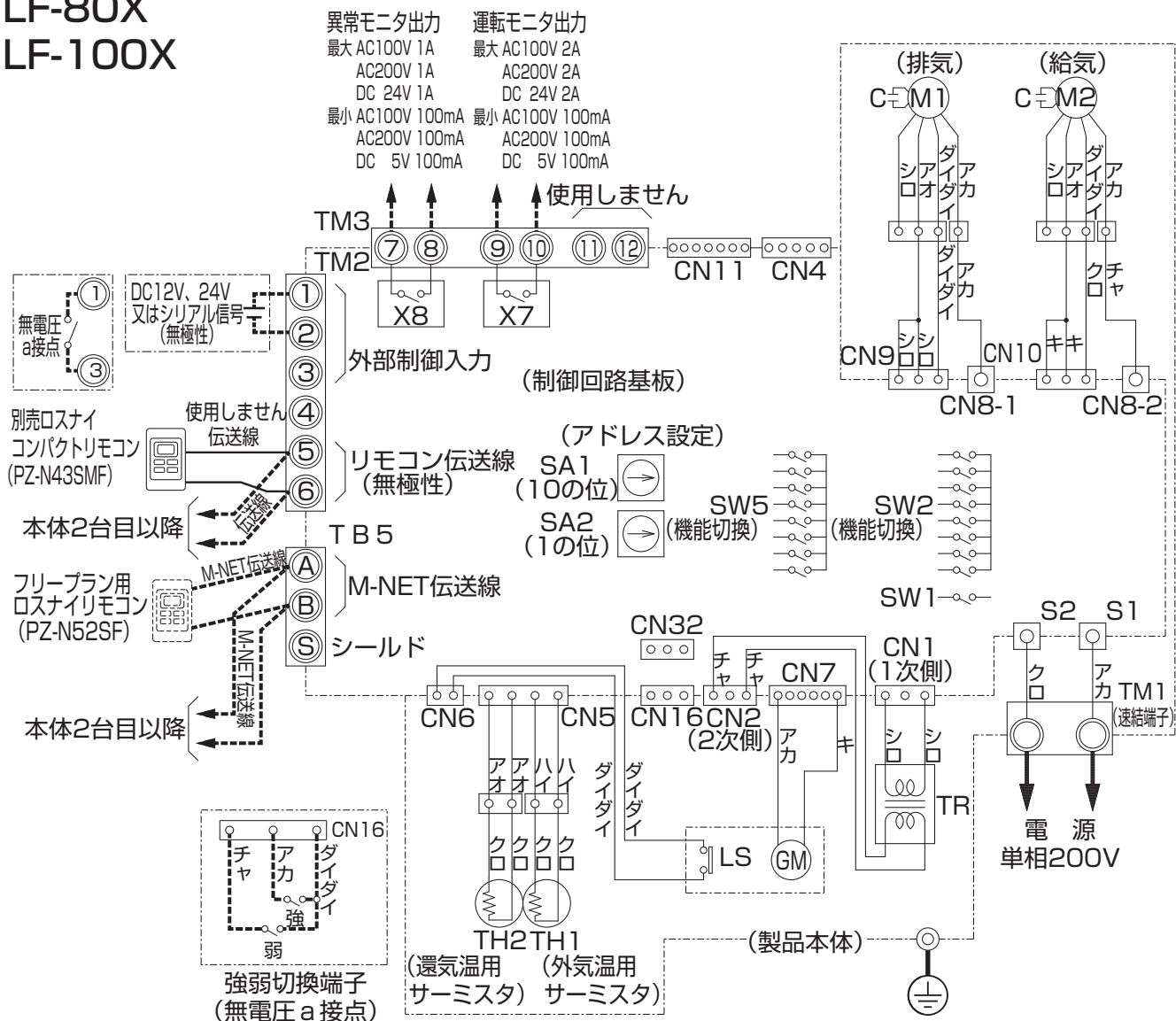
■ 記号説明

記号	名称	記号	名称	記号	名称
M1	送風機用電動機 (排気)	SW4	特強-強 切換スイッチ (給気側)	CN32	コネクタ (遠方入力)
M2	送風機用電動機 (給気)	SW5	機能切換用スイッチ	TR	制御回路用トランス
C	コンデンサ	SA1	アドレス設定用スイッチ (10の位) *1	S1, S2	ファストン端子 (速結端子接続用)
GM	バイパスダンパー用電動機	SA2	アドレス設定用スイッチ (1の位) *1	X7	リレー接点 (運転モニタ出力用)
LS	リミットスイッチ	TB5	端子台 (M-NET伝送線接続・無極性) *1	X8	リレー接点 (異常モニタ出力用)
TH1	サーミスタ (外気温度検知)	TM1	端子台 (AC200V入力)		
TH2	サーミスタ (還気温度検知)	TM2	端子台 (伝送線・外部制御入力接続)		
SW1	主/従切換スイッチ	TM3	端子台 (モニタ出力・外部加湿制御入力)		
SW2	機能切換用スイッチ	CN16	コネクタ (強弱切換入力)		
SW3	特強-強 切換スイッチ (排気側)				

* 1はフリープラン制御の場合に設定してください。

■結線図 ※太線および破線部分を接続する。

LF-80X
LF-100X



●注意事項

- TM1~TM3, TB5, CN16, CN32は現地接続、TM1は速結端子 (φ1.6~φ2.0VVF用)
- TM2, TM3, TB5はネジ端子接続となります。
- ※外部制御入力は「従」設定されたロスナイには接続できません。(「主」設定時のみ接続可)
- ※別売ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFをご使用の場合は、TM2端子台の⑤, ⑥に接続してください。
- フリープランシステムでご使用の場合は、TB5端子台の(A), (B)に接続してください。
- ※フリープランシステムでご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFはご使用できません。

- 本図はLF-80Xを示す。LF-100Xは電動機の接続が異なる。
- 太線及び破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

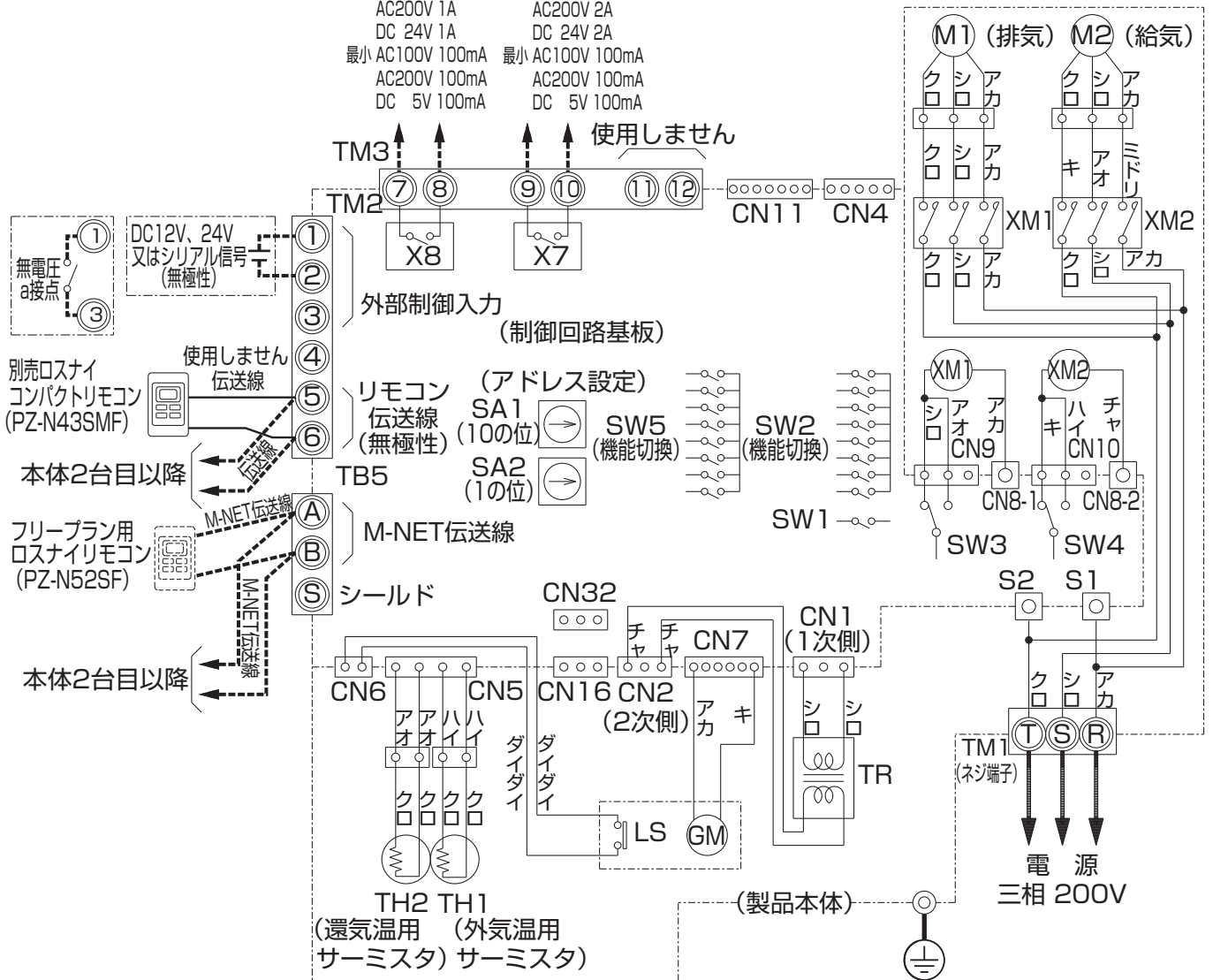
■記号説明

記号	名称	記号	名称	記号	名称
M1	送風機用電動機 (排気)	SW4	特強-強 切換スイッチ (給気側)	CN32	コネクタ (遠方入力)
M2	送風機用電動機 (給気)	SW5	機能切換用スイッチ	TR	制御回路用トランス
C	コンデンサ	SA1	アドレス設定用スイッチ (10の位) *1	S1, S2	ファストン端子 (速結端子接続用)
GM	バイパスダンパー用電動機	SA2	アドレス設定用スイッチ (1の位) *1	X7	リレー接点 (運転モニタ出力用)
LS	リミットスイッチ	TB5	端子台 (M-NET伝送線接続・無極性) *1	X8	リレー接点 (異常モニタ出力用)
TH1	サーミスタ (外気温度検知)	TM1	端子台 (AC200V入力)		
TH2	サーミスタ (還気温度検知)	TM2	端子台 (伝送線・外部制御入力接続)		
SW1	主/従切換スイッチ	TM3	端子台 (モタ出力・外部加湿制御入力)		
SW2	機能切換用スイッチ	CN16	コネクタ (強弱切換入力)		
SW3	特強-強 切換スイッチ (排気側)				

■ **結線図** ※太線および破線部分を接続する。

LF-150X-50・60
LF-200X-50・60

異常モニタ出力	運転モニタ出力
最大 AC100V 1A	最大 AC100V 2A
AC200V 1A	AC200V 2A
DC 24V 1A	DC 24V 2A
最小 AC100V 100mA	最小 AC100V 100mA
AC200V 100mA	AC200V 100mA
DC 5V 100mA	DC 5V 100mA



● **注意事項**

- TM1～TM3, TB5, CN32は現地接続、TM1, TM2, TM3, TB5はネジ端子接続となります。
- ※外部制御入力は“従”設定されたロスナイには接続できません。（「主」設定時のみ接続可）
- ※別売ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFをご使用の場合は、TM2端子台の⑤、⑥に接続してください。フリープランシステムでご使用の場合は、TB5端子台の①、②に接続してください。
- ※フリープランシステムでご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFはご使用できません。

- 太線及び破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

■ **記号説明**

記号	名称	記号	名称	記号	名称
M1	送風機用電動機（排気）	SA2	アドレス設定用スイッチ（1の位）*1	X8	リレー接点（異常モニタ出力用）
M2	送風機用電動機（給気）	TB5	端子台（M-NET伝送線接続・無極性）*1	XM1	電磁接触器（排気送風機）
GM	バイパスダンパー用電動機	TM1	端子台（AC200V入力）	XM2	電磁接触器（給気送風機）
LS	リミットスイッチ	TM2	端子台（伝送線・外部制御入力接続）		
TH1	サーミスタ（外気温度検知）	TM3	端子台（モニタ出力・外部加湿制御入力）		
TH2	サーミスタ（還気温度検知）	CN32	コネクタ（遠方入力）		
SW1	主／従切換スイッチ	TR	制御回路用トランス		
SW2	機能切換用スイッチ	S1, S2	ファストン端子（ネジ端子接続用）		
SW5	機能切換用スイッチ	X7	リレー接点（運転モニタ出力用）		
SA1	アドレス設定用スイッチ（10の位）*1				

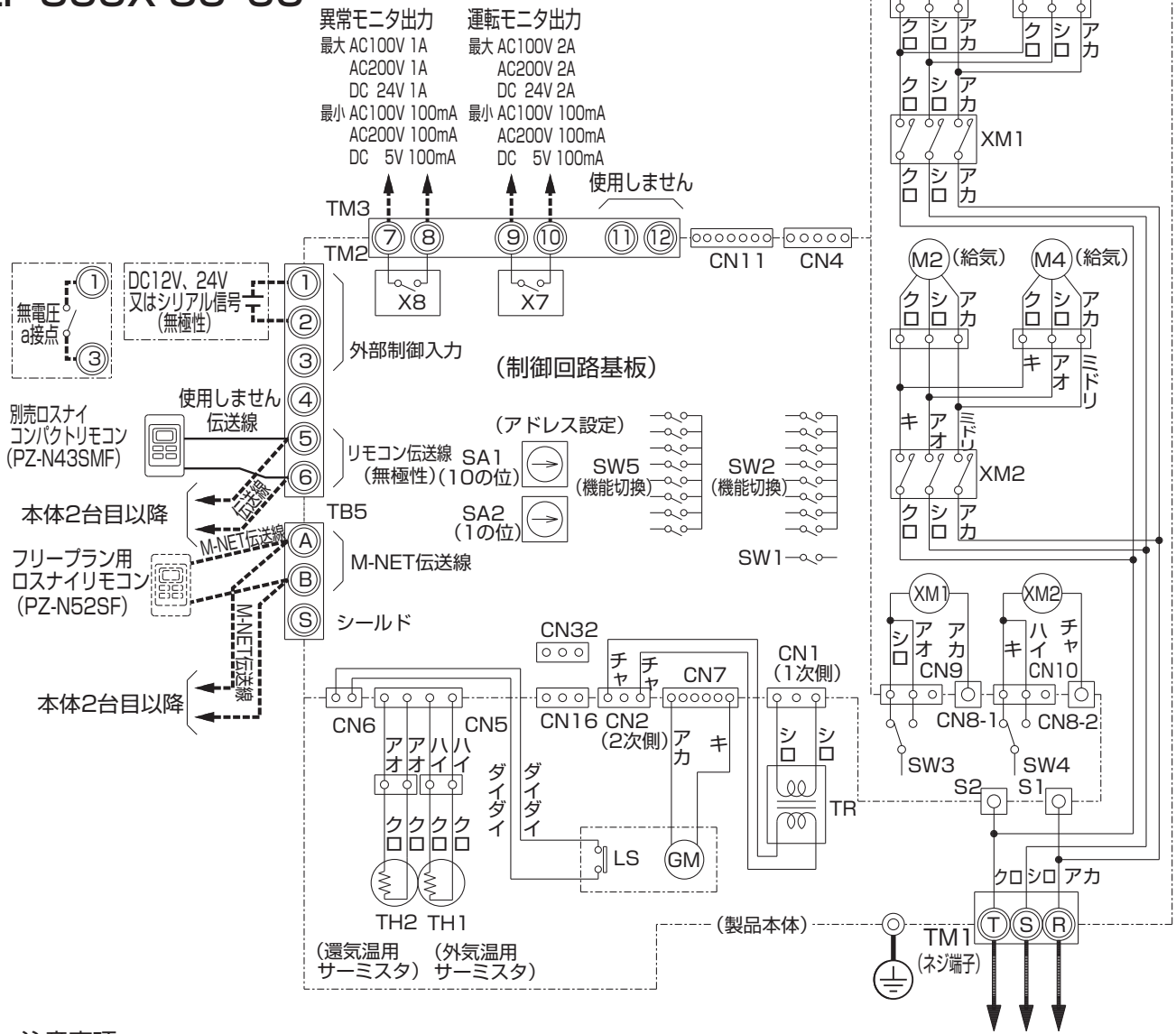
* 1はフリープラン制御の場合に設定してください。

■ 結線図 ※太線および破線部分を接続する。

LF-300X-50・60

LF-400X-50・60

LF-500X-50・60



● 注意事項

- TM1～TM3, TB5, CN32は現地接続、TM1, TM2, TM3, TB5はネジ端子接続となります。
- ※外部制御入力は“従”設定されたロスナイには接続できません。（「主」設定時のみ接続可）
- ※別売ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFをご使用の場合は、TM2端子台の⑤、⑥に接続してください。
- フリープランシステムをご使用の場合は、TB5端子台のA、Bに接続してください。
- ※フリープランシステムをご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンPZ-N43SMFはご使用できません。

- 太線及び破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

■ 記号説明

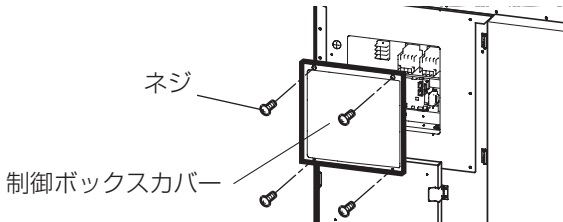
記号	名称	記号	名称	記号	名称
M1, M3	送風機用電動機 (排気)	SW5	機能切替用スイッチ	TR	制御回路用トランス
M2, M4	送風機用電動機 (給気)	SA1	アドレス設定用スイッチ (10の位) *1	S1, S2	ファストン端子 (ネジ端子接続用)
GM	バイパスダンパー用電動機	SA2	アドレス設定用スイッチ (1の位) *1	X7	リレー接点 (運転モニタ出力用)
LS	リミットスイッチ	TB5	端子台 (M-NET伝送線接続・無極性) *1	X8	リレー接点 (異常モニタ出力用)
TH1	サーミスタ (外気温度検知)	TM1	端子台 (AC200V入力)	XM1	電磁接触器 (排気送風機)
TH2	サーミスタ (還気温度検知)	TM2	端子台 (伝送線・外部制御入力接続)	XM2	電磁接触器 (給気送風機)
SW1	主/従切替スイッチ	TM3	端子台 (モタ出力・外部加湿制御入力)		
SW2	機能切替用スイッチ	CN32	コネクタ (遠方入力)		

* 1はフリープラン制御の場合に設定してください。

共通工事

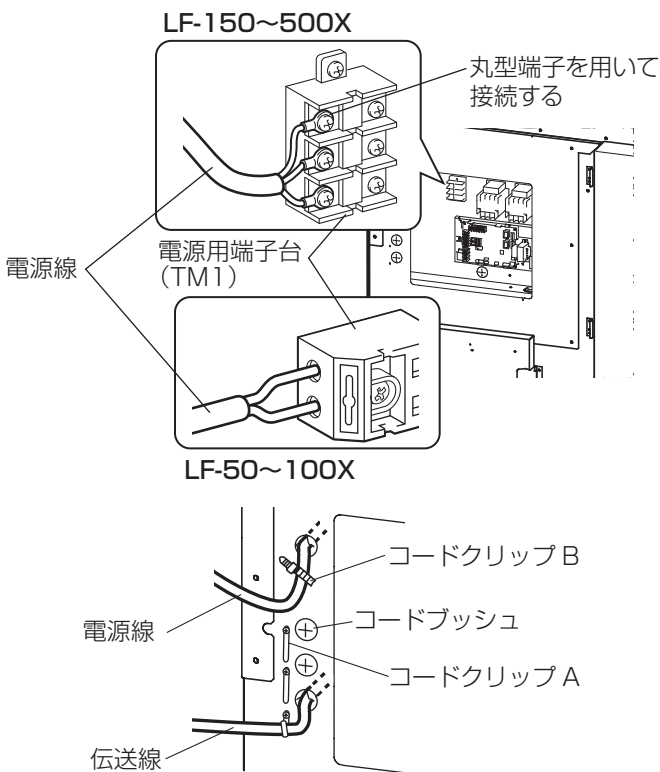
1 制御ボックスカバーを取りはずす

※図は LF-200X を示す



- 1.ネジ 4 本をはずして、制御ボックスカバーを取りはずす。
- LF-50・80・100X はネジ 1 本をはずして、コントロールボックスカバーを開きます。

2 電源線を接続する



- 1.電源線〈単線φ 2.0 (LF-150 ~ 300X)、φ 2.6 (LF-400・500X) 例 VVF〉を電源用端子台にネジ止めする。
- LF-50・80・100X は電源線（単線 φ 1.6 ~ φ 2.0 例 VVF）を電源用端子台に表示されている皮むきゲージに合わせて 15mm 皮むきし、電源用端子台に確実に差し込む。
- 2.電源線をコードクリップ B で固定する。
- 3.伝送線をコードクリップ A で固定し元の位置にネジ止めする。
- 伝送線は、点検カバー内の真中のリード線が通っているコードブッシュに通して端子台に接続する。

お願い

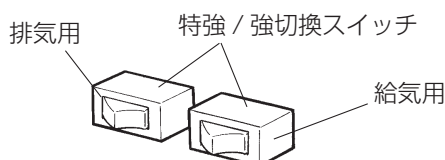
- 電源線と伝送線は誤動作防止のため 50mm 以上離して配線してください。
- 接続後、電源線を引っ張って抜けないことを確認してください。
- 電源 (TM1) への接続は確実に行ってください。(LF-150・200・300・400・500X は欠相すると電動機が焼損します)
- LF-150・200・300・400・500X は、試運転の項 (31 ページ) にて回転方向が正転であることを確認してください。

3 アース工事をする



- アース線は、必ずアース専用端子に接続する。

4 風量を切り換える ※ LF-50X のみ可能



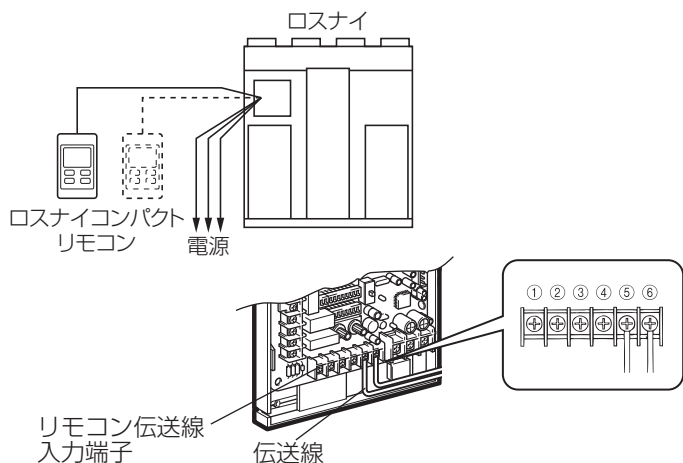
風量を多く必要とする場合やダクト管が長い場合は、特強 / 強切換スイッチ「強」から「特強」へ切り換える。

- 給・排気それぞれ切り換え可能です。
- 工場出荷時は「強」にしてあります。

システム構成 ……必要なところを接続する

- 1 ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)と接続する
- 2 「空調機などの外部機器」と連動する
- 3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する
- 4 ロスナイを複数台運転する
- 5 複数の外部機器と連動する
- 6 異常信号を取り出す
- 7 電動ダンパーなどと接続したり、運転信号を取り出す
- 8 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する
- 9 外部で強弱ノッチ切換をする(CO₂センサーなどと接続する)※LF-50・80・100Xタイプのみ
- 10 三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン(PZ-N52SF)または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する

1 ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)と接続する



※ロスナイの集中管理を行う場合はPZ-N43SMFは使用できません。

10の結線方法に従いロスナイリモコン(PZ-N52SF)をご使用ください。

ロスナイコンパクトリモコンからの伝送線をリモコン伝送線入力端子(TM2)の⑤⑥に確実に接続する。(無極性)線種：2芯シース付ケーブル

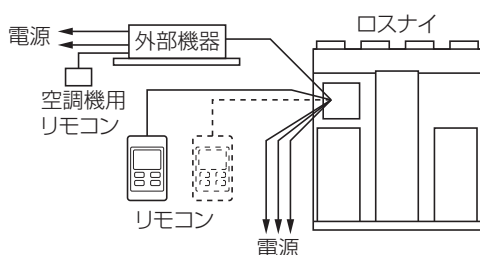
線径：0.3mm

●リモコンが2つある場合も同様に接続してください。

メモ

- 伝送線の総配線長は500m以内とします。
- 1つの入力端子に接続できる伝送線は4本までです。
- PVC線等の単線は接続できません。

2 「空調機などの外部機器」と連動する



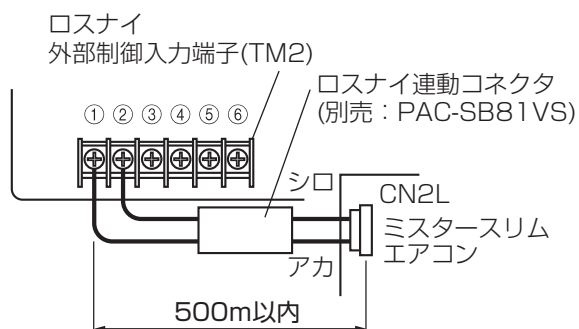
(1)外部機器の出力信号線を外部制御入力端子(TM2)に接続する。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります。

(2)パルス入力スイッチ(SW2-2)が「OFF」になっているか確認する。
(出荷状態は「OFF」に設定されています)

当社製ミスタースリムエアコン+MAリモコンのとき

……シリアル連動



ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側をスリム室内機基板上のCN2Lに接続し、リード線側をロスナイ外部制御入力端子(TM2)の①、②に接続する。(無極性)

●ロスナイ連動ケーブルと電源線は、誤動作防止のため、50mm以上離して配線してください。

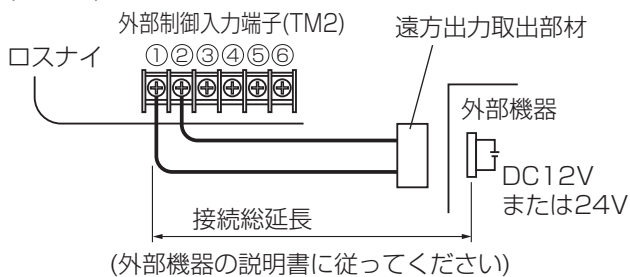
メモ

- このシステムではロスナイコンパクトリモコンは使用できません。
- ロスナイの運転/停止および風量の切り換えはMAリモコンにて行ってください。
- 換気モードは「換気モード自動切換」になります。

MAリモコンとは……ミスタースリムエアコンのリモコンです。

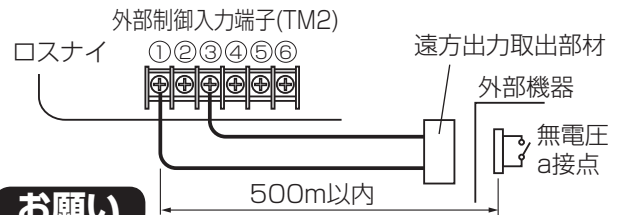
外部機器の運転信号が有電圧DC12Vまたは24Vとき

- 別売の遠方出力取出部材を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子(TM2)の①②に接続する。(無極性)



外部機器の運転信号が無電圧a接点のとき

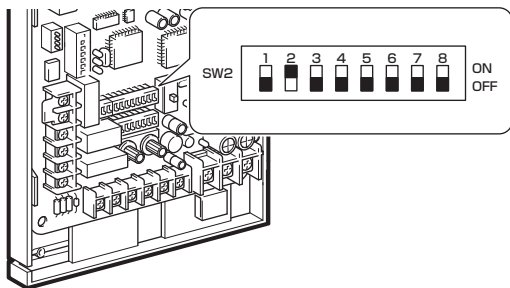
- 別売の遠方出力取出部材を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子(TM2)の①③に接続する。



お願い

- 無電圧a接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する

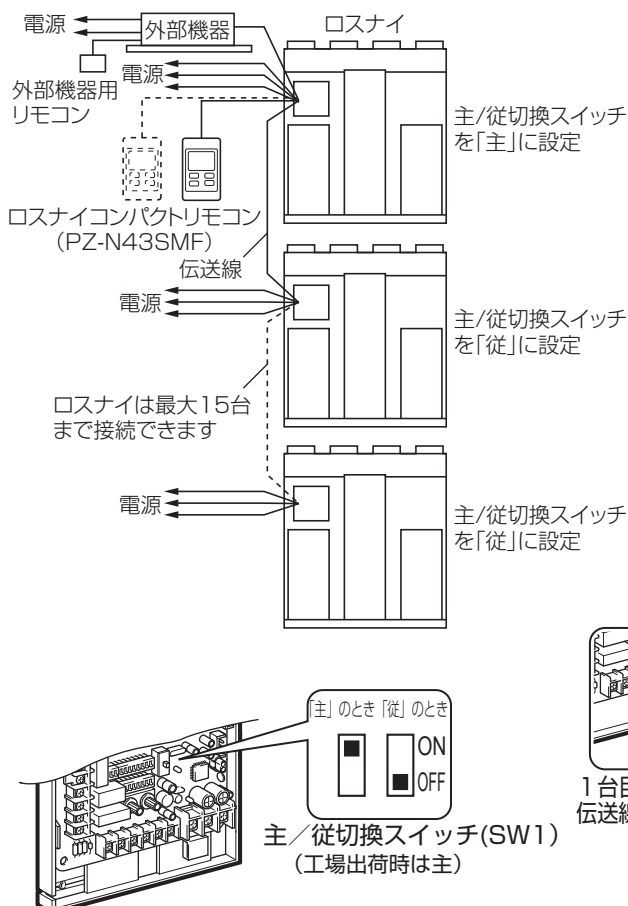


- (1)パルス入力スイッチ(SW2-2)を「ON」にする。(機能設定 1「パルス入力の設定」参照)
- (2)ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子(TM2)に接続する。

パルス信号のタイプにより接続方法が異なります

- 2 項「外部機器の運転信号が有電圧のとき」または、「外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき」を参照してください。
- パルス幅は200msec以上必要です。

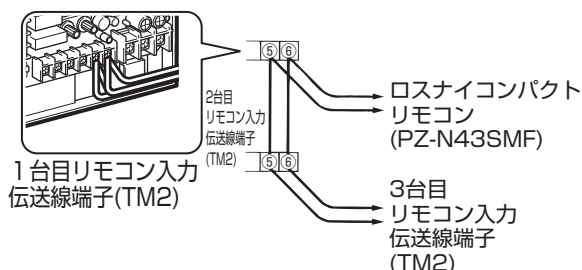
4 ロスナイを複数台運転する



- (1)ロスナイ 1 台目から 2 台目へ 2 台目から 3 台目へ… 最高15台までを伝送線(PVC線単線φ0.65~φ1.2 または、より線0.3mm²~1.25mm²)で接続する。
- (2)2台目以降のロスナイの主/従切換スイッチを「従」に切り換える。

メモ

- 1つの入力端子に接続できる伝送線は、PVC線φ0.65または、より線0.3mm²の場合は4本まで、その他の場合は2本までです。
- 「主」ロスナイのみ外部機器の運転信号・パルス信号の接続ができます。
- 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。
- 伝送線の総配線長は500m以内とします。

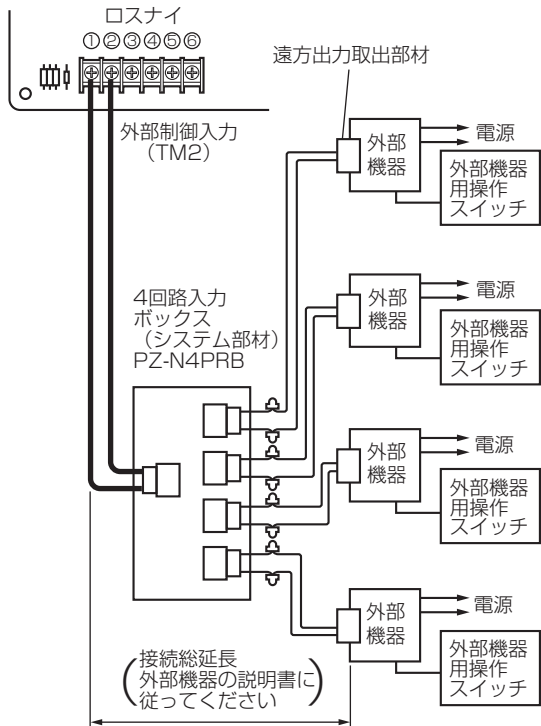


5 複数の外部機器と連動する

当社製ミスタースリムエアコンのDC12Vシリアル信号は複数台運転できませんので、遠方出力取出部材を介して無電圧a接点信号を利用してください。

外部機器の運転信号が有電圧DC12Vのとき

- システム部材(別売)の4回路入力ボックス(PZ-N4PRB)を使用して、外部制御入力端子(TM2)の①②に接続する。(無極性)

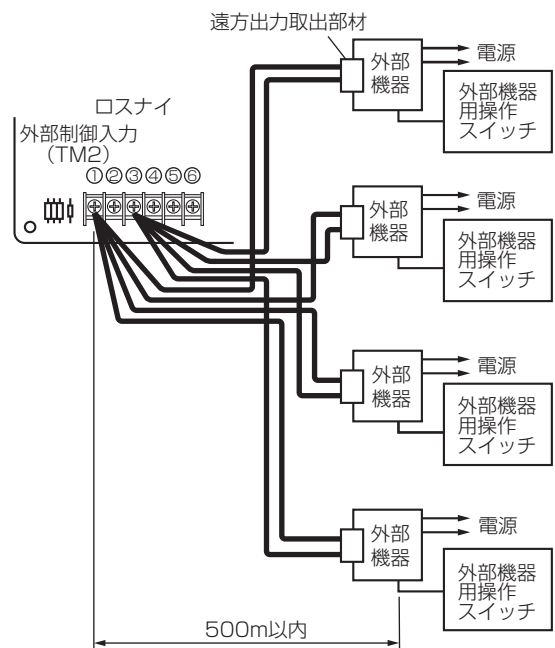


外部機器の運転信号が無電圧a接点のとき

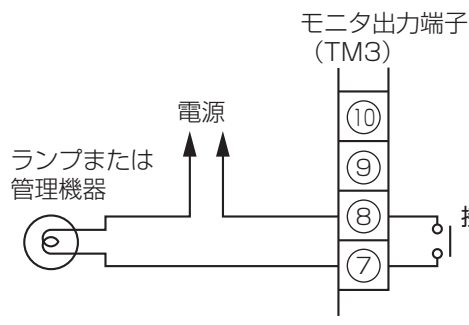
- 無電圧a接点で遠方出力取出部材を介して外部制御入力端子(TM2)の①③に接続する。

お願い

- 無電圧a接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

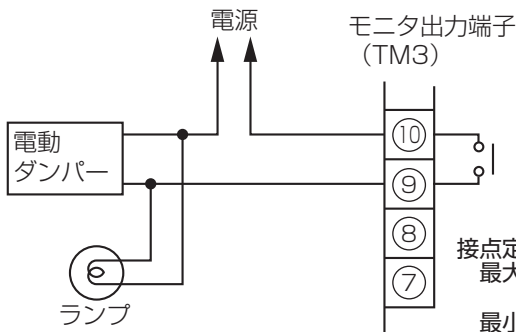


6 異常信号を取り出す



結線図を参照してモニタ出力端子(TM3)の⑦⑧に接続する。(無極性)

7 電動ダンパーなどと接続したり、運転信号を取り出す



結線図を参照して電動ダンパーからの電源線をモニタ出力端子(TM3)の⑨⑩に接続する。(無極性)

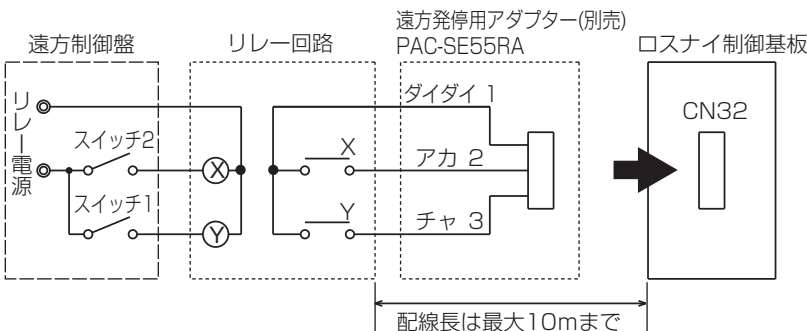
メモ

- 外部入力信号に対する応答時間は、下表のようになります。

外部信号形態	応答時間
レベル信号	最大7sec
パルス信号	最大200msec

8 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する

ロスナイ制御基板上的CN32へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込む。



スイッチ1 ON時は手元リモコン(PZ-N52SF等)での運転/停止ができません。

スイッチ2 スイッチ1 ON時 スイッチ2のONでロスナイ運転、スイッチ2のOFFでロスナイ停止ができます。

スイッチ1：遠方/手元切換スイッチ

スイッチ2：発停スイッチ

X. Y：リレー(接点定格DC1mA)

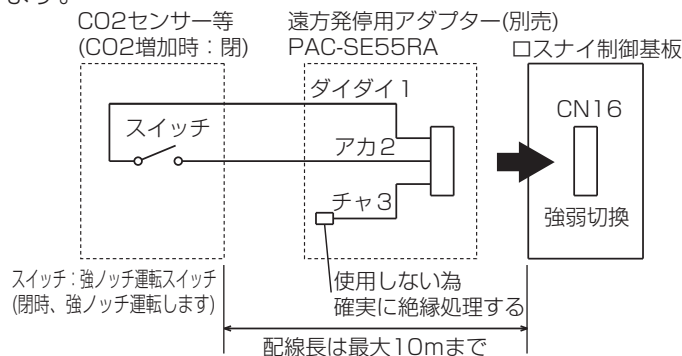
9 外部で強弱ノッチ切換をする(CO₂センサーなどと接続する)※LF-50・80・100Xのみ

市販のCO₂センサー等を使用し図のように、コネクタ(強弱切換用)CN16へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込んで結線する。

外部で強制強ノッチ運転させる

スイッチ ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は強ノッチとなります。

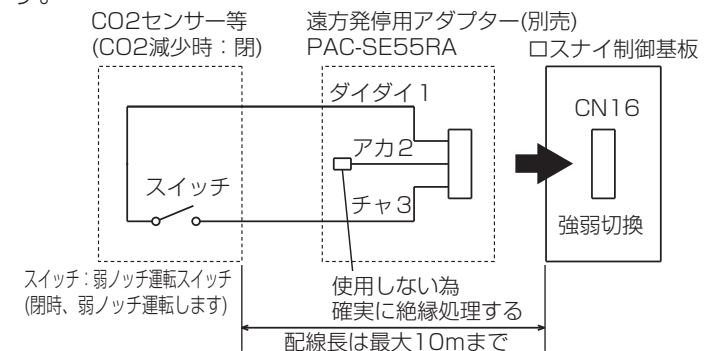
常時弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強運転になるような使いかたをします。



外部で強制弱ノッチ運転させる

スイッチ ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は弱となります。

常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに弱運転となるような使いかたをします。



10 三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン(PZ-N52SF)または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する

※本項の結線に従い集中管理を行う場合、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)は使用できません。

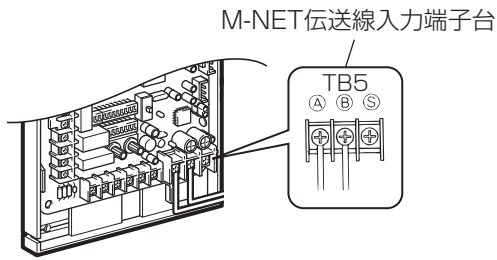
アドレス設定が必要です。(機能設定参照)

M-NET伝送線……空調機リモコン、ロスナイリモコン
または三菱ビル空調管理システム
(MELANS)のいずれかをロスナイに
つなぎます。

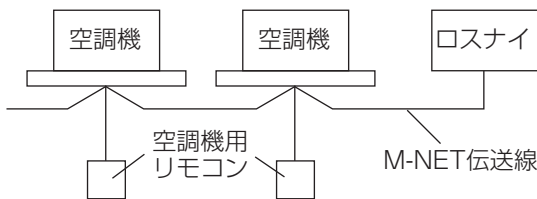
種類 (シールド線 CVVS・CPEVS)

線径 1.25mm²~2.0mm²

- M-NET伝送線を伝送線入力端子台(TB5)の①②に確実に接続する。



三菱フリープラン空調機を連動する

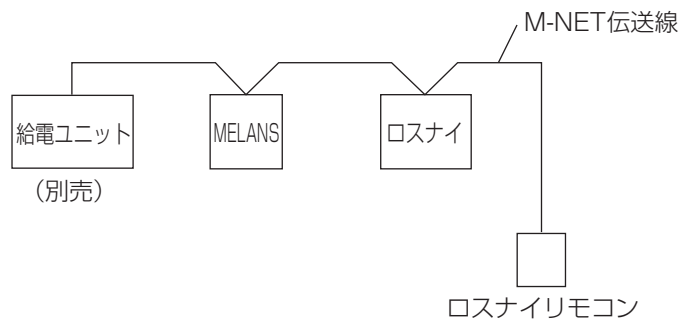


※伝送線の総配線長は500mまでとしてください。なお、ロスナイと給電ユニット(別売)または室外機との配線長は200mまでとしてください。

ロスナイリモコン(PZ-N52SF)またはMELANSと接続する

- 給電ユニットを接続する。

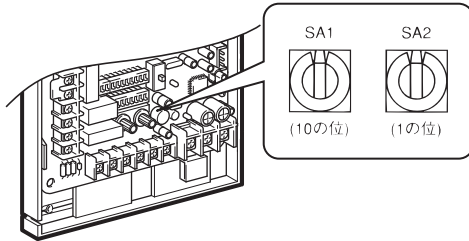
※M-NET伝送線はDC24~30Vの給電が必要です。フリープラン室外機の室内系側へ接続するときは室外機から給電されますが、それ以外のときは伝送線用給電ユニット(PAC-SC51KU)または伝送線用給電拡張ユニット(PAC-SF46EP)が必要です。



機能設定

三菱フリープラン空調機、ロスナイリモコン(PZ-N52SF)、MELANSと接続する場合はアドレス設定が必要です。

アドレス設定のしかた



※アドレス番号を変更しますと、メモリ内のデータが自動的にリセットされます。

ロスナイ専用のアドレス設定をする場合は下記により行ってください。

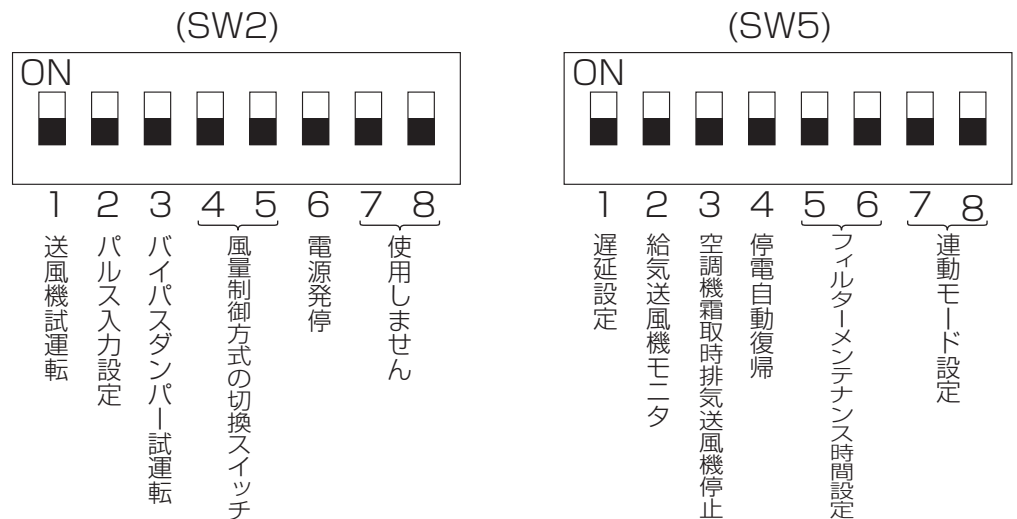
(ユニットアドレスの決めかたについては現地のシステムにより異なりますので技術資料等を参照してください。)

- 1.ネジ1本をはずしてコントロールボックスカバーを開ける。
- 2.基板上のアドレス設定スイッチを、マイナスドライバー等で回す。
 - (SA1)は10の位、(SA2)は1の位を示します。
 - 工場出荷時は「00」です。

機能切換スイッチ(SW2、5)の切り換え

基板上の機能切換スイッチ(SW2、5)にて必要な機能設定を行います。

- いつでも設定変更ができます。



設定項目

- 1 パルス入力の設定
- 2 風量制御方式の切換設定 (LF-50・80・100Xのみ)
- 3 電源発停機能
- 4 遅延の設定 (空調機冷暖房起動時の遅延動作)
- 5 給気送風機モニタ
- 6 空調機霜取時排気送風機停止
- 7 停電自動復帰の設定
- 8 フィルターメンテナンス時間の設定
- 9 連動モードの設定

機能設定 つづき

1 パルス入力の設定

スイッチ	設 定	モ ー ド																
SW2	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> OFF	ON									■			2				パルス入力なし (工場出荷時)
	ON																	
	■																	
2																		
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ON	ON									■			2				パルス入力あり
ON																		
	■																	
2																		

※SW2の1・3の説明は試運転ページに記載

2 風量制御方式の切換設定 (LF-50・80・100Xのみ)

スイッチ	設 定	モ ー ド																				
SW2	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>4 5</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 4.OFF 5.OFF	ON										■		4 5				通常(工場出荷時) (リモコン・MELANS等 の操作に従い運転)				
	ON																					
		■																				
4 5																						
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>4 5</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 4.ON 5.OFF	ON									■					■		4 5				強固定モード (常に強ノッチ)
ON																						
	■																					
		■																				
4 5																						
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>4 5</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 4.OFF 5.ON	ON											■	4 5				弱固定モード (常に弱ノッチ)				
ON																						
			■																			
4 5																						

3 電源発停機能

スイッチ	設 定	モ ー ド																
SW2	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> OFF	ON										■		6				無効(工場出荷時) 電源投入時、SW5-4の設 定に応じて停止または運 転する
	ON																	
		■																
6																		
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ON	ON									■			6				有効 電源入・切で運転可能
ON																		
	■																	
6																		

※手元リモコンがない場合は、外部制御入力端子 (TM2) の①③を短絡する必要があります。この場合、元電源投入後1分以内に運転を開始します。

4 遅延の設定

(空調機冷暖房起動時の遅延動作)

スイッチ	設 定	モ ー ド																
SW5	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>■</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> OFF	ON								■				1				遅延動作なし (工場出荷時)
	ON																	
■																		
1																		
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ON	ON									■			1				遅延動作30分 ※停止後2時間以内に運 転した場合は遅延動作 しません
ON																		
	■																	
1																		

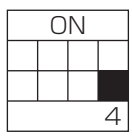
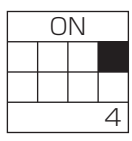
5 給気送風機モニタ

スイッチ	設 定	モ ー ド																
SW5	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> OFF	ON										■		2				運転モニタ出力(TM3⑨⑩) 排気送風機に対応 (工場出荷時)
	ON																	
		■																
2																		
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ON	ON									■			2				運転モニタ出力(TM3⑨⑩) 給気送風機に対応
ON																		
	■																	
2																		

6 空調機霜取時排気送風機停止

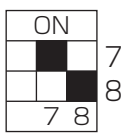
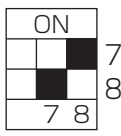
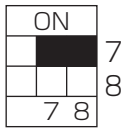
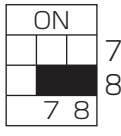
スイッチ	設 定	モ ー ド																
SW5	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> OFF	ON										■		3				空調機除霜時運転 (工場出荷時)
	ON																	
		■																
3																		
	<table border="1"> <tr><td>ON</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ON	ON										■		3				空調機除霜時停止
ON																		
		■																
3																		

7 停電自動復帰の設定

スイッチ	設 定	モード(動作)
SW5		自動復帰なし(工場出荷時) 復帰後停止
		自動復帰あり 復帰後停電前のモードで運 転

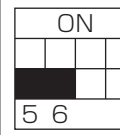
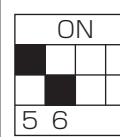
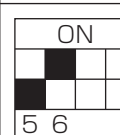

※手元リモコンが必要です。リモコンがない場合は自動復帰できません。

9 連動モードの設定

スイッチ	設 定	モ ー ド
SW5		ON連動 外部機器が運転すればロス ナイも運転。停止はリモコ ンまたは、MELANSによ る。
		OFF連動 外部機器が停止すればロス ナイも停止。運転はリモコ ンまたは、MELANSによ る。
		外部入力優先 外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 外部機器の停止時のみリモコンまたはMELANS操作有効。
		ON/OFF連動(工場出荷時) 外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 リモコンまたはMELANSによる後押し操作可能。

8 フィルターメンテナンス時間の設定

想定される発生塵埃量に合わせてフィルターのメンテナンス時間を設定する。

スイッチ	設 定	モ ー ド
SW5		3000時間(工場出荷時)
		1500時間
		4500時間
		無制限 (リモコンのフィルターク リーニング表示なし)

試運転

システム全体の設置完了後、誤結線がないか確認し、各システムのリモコン・外部機器用操作スイッチの取扱説明書を参照して試運転を行う。

- 分割搬入した場合は風漏れを確認し、風漏れ箇所をシリコンで塞いでください。

システム全体の中でのロスナイ試運転


■空調機または外部機器と連動運転システムの場合

- 空調機のリモコンまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機とロスナイの連動を確認する。
- 遅延設定されている場合は(フリープラン空調機の場合は冷暖起動時)遅延時間経過後にロスナイの運転を確認する。

■MELANSシステムの場合

- 三菱ビル空調管理システム(MELANS)にてロスナイの運転を確認する。

ロスナイ単独の試運転

SW2		試 運 転 動 作	
		SW2-1	送風機用電動機(M1、M2)に通電され強ノッチで運転開始
SW2-3	バイパスダンパー用電動機に通電されダンパー板が動作する		

1 運転開始

- 1.ロスナイに電源を供給する。
- 2.送風機試運転スイッチ(SW2-1)を「ON」にする。送風機が運転します。(LF-50・80・100Xは強ノッチの運転となります)

2 換気モード切換動作確認

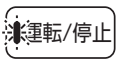

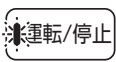



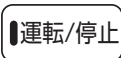
- 1.バイパスダンパー試運転スイッチ(SW2-3)を「ON」にする。(普通換気状態になります)
- 2.ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する。
- 3.メンテナンスカバーを開けダンパーの動作を確認する。(動作音で確認する)

確認終了後SW2-1、SW2-3をOFFにする。

リモコン(PZ-N43SMF・PZ-N52SF)を使用する場合の試運転

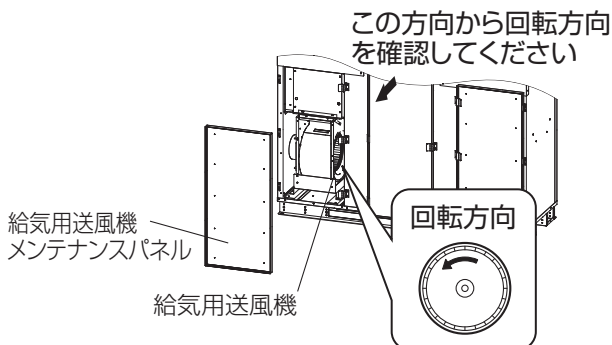
PZ-N52SFの場合のメモ

- ロスナイのみのシステムの場合は、給電ユニット（別売）が必要です。
- ロスナイ、ロスナイリモコンのアドレス設定およびグループ登録をします。
アドレス設定、グループ登録の方法はMELANS、またはロスナイリモコンの取扱説明書および据付工事説明書を参照してください。

1	運転開始			
	PZ-N43SMF		換気 熱交換	
1.ロスナイに電源を供給する。 (「HO」が45秒以内点滅) 2.「HO」表示消灯後、運転/停止ボタンを押す。 (運転ランプが点灯し、ロスナイ運転開始)				
	PZ-N52SF			運転ボタンを押す。(運転ランプが点灯し、ロスナイ運転開始) ●リモコンの表示が何もされない場合は、給電ユニットが接続されているか確認してください。 ●「HO」表示がでるときは、グループ登録されているか確認してください。
2	風量の切換え動作の確認	※LF-50X~100Xのみ		
	PZ-N43SMF			PZ-N52SF
1.風量切換えボタンを「強・弱」に切り換える。 (押すたびに強→弱→強が切り換わります) 2.ロスナイの給・排気の風量が強/弱に切り換わるか確認する。 (SW2の3・4・5がONに設定されていた場合はそれぞれの設定に従います)				
3	換気モードの切換え動作の確認			
	PZ-N43SMF		換気 自動 熱交換 普通	
	PZ-N52SF		換気 自動 熱交換 普通	1.換気モード切換えボタンを押す。 (押すたびに「自動」切換え→「熱交換」固定→「普通」固定→「自動」切換えと切り換わります) 2.ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する。 3.メンテナンスカバーを開けダンパーの動作を確認する。 ●外気温度が8℃以下のときは、「換気普通」に切り換わりません。 ●ダンパーが動作する前に排気換気扇が約30秒停止しませす。(ダンパー動作をスムーズにするため)
4	運転停止			運転ボタンを押す。 (運転ランプが消灯し、ロスナイ運転停止)

回転方向の確認

※ LF-150・200・300・400・500X の場合のみ確認してください。



- 給気用送風機メンテナンスパネルを取りはずし給気用送風機の羽根の回転方向を確認する。(回転方向は、送風機の羽根ケーシング部の表示を参照ください)

メモ

- 排気用送風機の回転方向は、給気用送風機の回転と同じです。回転方向の確認は必要ありません。

お願い

- 回転方向が逆回転の場合、本体への電源接続の結線を入れ換えてください。

試運転 つづき

試運転時異常があった場合

現象	処 置												
ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)の運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認 (指定電源单相200Vまたは三相200V、線径(21ページの共通工事の②「電源線を接続する」を参照)、開閉器容量) 伝送線の短絡、断線の確認 (伝送端子間電圧がDC9~15Vを確認) 伝送線と電源線および他の伝送線とが50mm以上離れているか確認 試運転スイッチ (SW2-1) にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)が3個以上取付けられていないか確認(最大2個まで) 	ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認						
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検											
ロスナイは運転しない	→	電源の確認											
ロスナイリモコン(PZ-N52SF)に「HO点滅」	<ul style="list-style-type: none"> ロスナイリモコン (PZ-N52SF) またはMELANSにて登録操作を行う (ロスナイリモコン、MELANSの取付工事説明書による) 												
ロスナイリモコン(PZ-N52SF)またはMELANSの運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認 (指定電源单相200Vまたは三相200V、線径(21ページの共通工事の②「電源線を接続する」を参照)、伝送線用給電ユニット (電源AC100VまたはAC200V)、開閉器容量) 給電ユニットの有・無および電源が入っているか確認(ロスナイのみのシステムの場合、給電ユニットが必要です) 伝送線の短絡、断線の確認(伝送端子間電圧がDC20~30Vを確認) 伝送線と電源線および他の伝送線とが50mm以上離れているか確認 試運転スイッチ (SW2-1) にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table>	ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認						
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検											
ロスナイは運転しない	→	電源の確認											
空調機または、外部機器と連動しない	<ul style="list-style-type: none"> パルス入力スイッチ (SW2-2) が「OFF」になっているか確認 空調機または外部機器とロスナイ間の伝送線の総延長を確認(技術資料等を参照してください) 外部制御入力端子 (TM2) の接続を確認 有電圧DC12Vまたは24V出力機器の場合 外部制御入力端子 ①②に接続 無電圧a接点出力機器の場合 外部制御入力端子 ①③に接続 当社製ミスタースリムエアコンの場合 外部制御入力端子 ①②に接続 空調機リモコン、MELANSにて登録操作を行う (空調機リモコン、MELANSの取扱説明書による) 連動モード設定がON連動または、OFF連動になっていないか確認 (ON/OFF連動または、外部入力優先に設定し直す) 遅延設定されていないことを確認 外部機器とロスナイ間の信号線の総延長を確認 (技術資料等を参照してください) 外部機器からの信号線を外部制御入力端子からはずして確認 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運転信号</th> <th>停止信号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有電圧DC12Vまたは24V出力機器</td> <td>DC12Vまたは24V</td> <td>DC0V</td> </tr> <tr> <td>無電圧a接点出力機器</td> <td>抵抗0Ω</td> <td>抵抗無限大Ω</td> </tr> <tr> <td>当社製ミスタースリムエアコン</td> <td>DC2~6V(パルス信号)</td> <td>DC2~6V(パルス信号)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ロスナイ複数台運転で外部制御入力端子に接続されているロスナイの主/従切換スイッチが主設定になっているか確認またはその他のロスナイは従設定になっているか確認 試運転スイッチ(SW2-1)が「OFF」になっているか確認 		運転信号	停止信号	有電圧DC12Vまたは24V出力機器	DC12Vまたは24V	DC0V	無電圧a接点出力機器	抵抗0Ω	抵抗無限大Ω	当社製ミスタースリムエアコン	DC2~6V(パルス信号)	DC2~6V(パルス信号)
	運転信号	停止信号											
有電圧DC12Vまたは24V出力機器	DC12Vまたは24V	DC0V											
無電圧a接点出力機器	抵抗0Ω	抵抗無限大Ω											
当社製ミスタースリムエアコン	DC2~6V(パルス信号)	DC2~6V(パルス信号)											
ロスナイが停止しない													
制御ボックス内部の点検表示ランプ(LED1緑)が点滅している	<table border="1"> <tr> <td>2回</td> <td>ロスナイ側回路の故障</td> <td rowspan="5">電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>ダンパーモータ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>ロスナイ(OA側)サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>ロスナイ(RA側)サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>遅延中</td> </tr> </table> <p>ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)がない場合は、30分経過後消灯(運転)します</p>	2回	ロスナイ側回路の故障	電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。	3回	ダンパーモータ関係の故障	4回	ロスナイ(OA側)サーモ関係の故障	5回	ロスナイ(RA側)サーモ関係の故障	点灯	遅延中	
2回	ロスナイ側回路の故障	電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。											
3回	ダンパーモータ関係の故障												
4回	ロスナイ(OA側)サーモ関係の故障												
5回	ロスナイ(RA側)サーモ関係の故障												
点灯	遅延中												
制御ボックス内部の点検表示ランプ(LED2赤)が点滅している	<table border="1"> <tr> <td>1回</td> <td rowspan="2">M-NET通信上の異常</td> <td rowspan="2">電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。</td> </tr> <tr> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>登録操作をしていない</td> <td>コントローラにて登録操作をしてください</td> </tr> </table> <p>※M-NETを使用しない場合は、LED2の点滅・点灯は異常ではありません</p>	1回	M-NET通信上の異常	電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。	8回	点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください					
1回	M-NET通信上の異常	電源を切ってお買上げの販売店にお申しつけてください。											
8回													
点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください											
上記以外でも運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 分割搬入時のコネクター差し忘れ確認 												

■リモコンに点検ナンバーが点滅表示したときはリモコンに付属の据付工事・取扱説明書または「ロスナイ技術資料」に従って処置する。

■リモコンを使用しない場合はロスナイに電源が投入されてから約45秒後に運転を開始する。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。